

2009年度 中小企業情報セキュリティ対策促進事業

**中小企業向け情報セキュリティ指導者  
育成セミナー開催に関する実施報告書**

2010年3月31日

特定非営利活動法人  
日本ネットワークセキュリティ協会



目 次

第 1 章 中小企業情報セキュリティ対策促進事業概要 .....	- 2 -
第 2 章 指導者育成セミナー開催概要.....	- 4 -
第 3 章 指導者育成セミナー開催地及び参加者数.....	- 5 -
第 4 章 指導者育成セミナープログラム.....	- 6 -
第 5 章 各地の開催状況(開催日程順) .....	- 7 -
第 6 章 セミナー実施状況.....	- 28 -
第 7 章 開催会場からの意見.....	- 38 -
第 8 章 商工会議所・中小企業団体中央会からの意見.....	- 40 -
第 9 章 担当講師からの意見.....	- 47 -
第 10 章 地域での講習会の開催.....	- 48 -
第 11 章 まとめ.....	- 52 -

## 第1章 中小企業情報セキュリティ対策促進事業概要

### 目的:

経済社会がグローバル化する今日、IT化の進展によって企業の生産性が飛躍的に向上し、国境を越えたサプライチェーンが高度化してきています。その一方で、インターネットを通じ、社内やグループ企業内のコンピュータ、ネットワーク、従業員の家庭のコンピュータから、企業情報の漏えい、個人情報流出などの事件・事故が相次いで発生しており、その内容も多様化する一方となっています。このような情報セキュリティに関する事件・事故は、利用者である顧客に重大な損害を与えるだけでなく、企業そのものに金銭的な不利益をもたらすとともに、社会的責任を問われ、企業としての信用・信頼を失うおそれがあります。

これまで、関係機関の理解と協力のもとに様々な事業を行うことで、我が国企業の情報セキュリティレベルは全体的に向上しつつありますが、企業規模別に見ると、中小企業における情報セキュリティ対策の取組みは、大企業と比較して十分とは言えません。また、昨今、顧客から預かった大事な情報を、委託先の中小企業が漏えいしてしまう事故も発生していることから、中小企業の情報セキュリティレベルの向上を図ることが、我が国全体の情報セキュリティ水準の向上に必要不可欠です。

このような状況を踏まえ経済産業省からの委託を当協会が受け、日本商工会議所、全国商工会連合会及び特定非営利活動法人ITコーディネータ協会、全国中小企業団体中央会、社団法人中小企業診断協会の協力の下、中小企業の経営者等に対して、情報セキュリティ対策に係る意識を高めていただくことを目的とした中小企業情報セキュリティ対策促進事業を実施しました。

この事業は2年度目の事業であり、本事業の主旨と初年度で実施した成果と課題を反映して、中小企業に対して、情報セキュリティ対策の必要性への気づきを与え、企業に応じた対策を行ってもらうことを目的とした事業となっています。地域ごとの指導的立場の人材が情報セキュリティ対策の重要性と具体的対応を中小企業の経営者に直接指導することが、適切な情報セキュリティ対策実施のためには必要であることから、指導者の育成を中心とする施策を次のとおり実施しました。

- ・ 全国の商工会議所の職員、商工会職員、EC実践講師、中小企業団体中央会関係者、中小企業診断士、ITコーディネータ等を対象とした指導者向けの情報セキュリティ研修「情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー」を開催し、それにより各商工会議所の職員、商工会・都道府県中央会関係者等は、情報セキュリティ対策に関する中小企業からの質問に対応できるようにする。
- ・ EC実践講師、ITコーディネータ、中小企業診断士等のITの専門家は、研修を受講することにより、IT利活用の支援等を実施する際に、併せて情報セキュリティ対策の必要性について「気づき」をもたらし、中小企業の情報セキュリティ対策の実施を導くことができるようにする。
- ・ さらに、受講者が地域で開催する講習会を支援することとし、セミナー教材や指導用ツールを無償で提供を行うとともに、「お近くの相談員」として、本促進事業ホームページに氏名を掲載する。
- ・ また、各商工会議所職員、商工会関係者、EC実践講師等が、助言を求めることを可能とするコールセンターを、IPAの協力の下に設置する。

また、本事業の実施にあたり、有識者及び当協会会員企業を参加メンバーとしたワーキンググループを設置し、セミナーの企画・教材検討(テキスト・ビデオ)、講習会の開催方法についての検討会を計3回実施しました。

- 第1回会合 平成21年9月18日(金)10時~12時00分
- 第2回会合 平成21年12月4日(金)10時30分~11時45分
- 第3回会合 平成22年3月26日(金)16時~17時30分

#### ワーキンググループリーダー

井上 陽一 NPO日本ネットワークセキュリティ協会顧問・西日本支部長

#### ワーキンググループメンバー

黒田 俊久 経済産業省 商務情報政策局情報セキュリティ政策室  
金谷 学 経済産業省 商務情報政策局情報セキュリティ政策室  
石井 茂 独立行政法人情報処理推進機構 セキュリティセンター  
塩野 裕 日本商工会議所 情報化推進部  
角田 照彦 全国商工会連合会 組織運営部 情報・能力開発課  
栗原 孝之 全国中小企業団体中央会 調査部  
岡 現 特定非営利活動法人東京ITコーディネータ  
渡部 章 (株)アークン  
加藤 雅彦 (株)アイアイジェイテクノロジー  
元持 哲郎 アイネットシステムズ(株)  
持田 啓司 (株)大塚商会  
小屋 晋吾 トレンドマイクロ(株)  
嶋倉 文裕 富士通関西中部ネットテック(株)  
高橋 正和 マイクロソフト(株)  
西本 逸郎 (株)ラック サイバーリスク総合研究所

## 第2章 指導者育成セミナー開催概要

### 概要:

中小企業の情報セキュリティ対策レベルの向上を図るためには、中小企業のホームページ作成や IT 化の支援などを行ない、実際に中小企業のアドバイザー的な役割を担う人々に対して、情報セキュリティに関する知識習得の機会を提供し、中小企業の経営者などに対して、情報セキュリティ対策の必要性をアピールすることが重要であると考えます。

そのため、経済産業省とNPO日本ネットワークセキュリティ協会(JNSA)は、2008年度から、地域での指導者育成を目的とした指導者育成セミナーを実施した。今年度は対象者を前年度の商工会議所職員や商工会職員などの中小企業支援を業務等で行っている方々や、ITコーディネータ資格保持者だけでなく、都道府県中央会職員や中小企業診断士などにも拡大し、多くの中小企業へ指導を行う立場にある方々に対して、情報セキュリティの知識習得と中小企業向け指導法習得を目的とした指導者育成セミナーを2009年11月から翌3月末にかけて全国で開催した。

特に今年度は、知識習得よりも指導方法の習得や指導の関する支援に重きを置いたプログラムとした。

- 期間 : 2009年11月～2010年3月  
開催数 : 全国各地18都道府県にて21回開催  
主催 : 経済産業省、NPO日本ネットワークセキュリティ協会  
後援 : 日本商工会議所、全国商工会連合会、NPOITコーディネータ協会、  
全国中小企業団体中央会、社団法人中小企業診断協会、  
開催地の商工会議所・県商工会連合会  
定員 : 各会場50名～100名  
参加対象 : 商工会議所関係者(商工会議所職員、EC実践講師、日商マスター、  
エキスパートバンク登録者等)、商工会関係者、ITコーディネータ、  
中小企業団体中央会関係者、中小企業診断士、  
その他中小企業へ指導を行う立場にある人  
ITコーディネータの受講者には、ITC協会後援セミナーとして受講修了証を発行し、知識ポイントを付与した。

### 第3章 指導者育成セミナー開催地及び参加者数

ブロック	開催地域名 (後援団体)	日 時	参加者 総数(名)	掲載頁
		会 場		
北海道	北海道(1) (北海道商工会連合会)	2009年12月2日 水曜日 釧路全日空ホテル	13	11
	北海道(2) (札幌商工会議所)	2010年1月25日 月曜日 北海道経済センター	48	19
東北	青森 (青森県商工会連合会)	2010年3月23日 火曜日 青森県火災共済会館	26	27
	宮城 (仙台商工会議所)	2010年1月13日 水曜日 仙台商工会議所	21	15
関東	東京(1) (東京商工会議所)	2009年12月7日 月曜日 東京商工会議所ビル	85	12
	東京(2) (東京都商工会連合会)	2010年2月26日 金曜日 多摩テクノプラザ(昭島市)	56	25
	群馬 (前橋商工会議所)	2010年1月20日 水曜日 前橋商工会議所	17	18
	神奈川(神奈川県商工会議所連合会・神奈川商工会連合会)	2010年3月17日 水曜日 相鉄岩崎学園ビル	90	26
	長野 (諏訪商工会議所)	2009年11月17日 火曜日 諏訪商工会館	19	8
	静岡(静岡商工会議所・静岡県中小企業団体中央会)	2010年1月29日 金曜日 静岡コンベンションアーツセンター	19	20
中部	愛知 (春日井商工会議所)	2010年2月5日 金曜日 春日井商工会議所	15	22
	富山(富山商工会議所・富山県中小企業団体中央会・(社)富山県情報産業協会)	2010年1月19日 火曜日 富山県総合情報センター	25	17
近畿	京都 (京都商工会議所)	2010年2月19日 金曜日 京都商工会議所	50	24
	大阪(1) (大阪商工会議所)	2009年11月9日 月曜日 大阪商工会議所	65	7
	大阪(2) (大阪府商工会連合会)	2010年1月18日 月曜日 マイドームおおさか	76	16
	兵庫 (尼崎商工会議所)	2009年12月14日 月曜日 尼崎商工会議所ビル	26	13
中国	鳥取 (鳥取県商工会連合会)	2010年2月1日 月曜日 鳥取県商工会連合会館	25	21
	広島 (広島商工会議所)	2009年11月26日 木曜日 広島商工会議所	21	10
四国	愛媛 (松山商工会議所)	2010年2月10日 水曜日 松山市男女共同参画推進センター	17	23
九州	福岡 (福岡商工会議所)	2009年11月25日 水曜日 福岡商工会議所	38	9
	熊本 (熊本県商工会連合会)	2009年12月18日 金曜日 メルパルク熊本	13	14
		合 計	765	---

## 第4章 指導者育成セミナープログラム

情報セキュリティ対策について中小企業へ指導する際の方法、トラブルシューティングやインシデント発生時の対応方法、情報セキュリティ最新情報など、指導者が知っておかねばならないことを主な内容として実施した。

午前は基礎研修として、中小企業が最低限知っておくべき情報セキュリティ対策について、講習用テキストを基に説明できるよう、指導用マニュアルの活用方法とともに説明。情報セキュリティの初心者にも分かりやすいように、身近な例を中心に学ぶセミナーとした。

午後は、指導用ツールの利用方法と、グループディスカッションを実施。気づきを与え、現状を理解するための指導用ツールを紹介するとともに、グループディスカッションで、関係者間がリスクと対策方法を情報共有し、計画的に対策を行う手法を学ぶ内容で行った。

- (ア) 指導者基礎研修 9:30～12:30(オリエンテーション含む)  
講習用テキスト「中小企業が知っておくべき情報セキュリティ対策」による学習と、指導用マニュアルの活用方法を学習し、情報セキュリティ対策の必要性・考え方・教え方の説明を行う。
- (イ) 指導者実践研修 13:30～14:30  
指導用ツールの利用法について解説する。
  - ・ビデオ上映と解説方法
  - ・「5分でできる！中小企業のための情報セキュリティ自社診断」利用ツール
  - ・「JNSA理解度チェック・サイト」
- (ウ) 指導者実践研修 14:40～17:00(講師講評含む)  
実際に起こり得る情報漏えいなどの事件発生を想定してのケーススタディをグループに分かれて行い、問題点や対応策を検討し発表を実施。

第5章 各地の開催状況(開催日程順)

情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー ( 大阪 )				
開催報告書				
日時	2009年11月9日(月) 9:30 ~ 17:00			
場所	大阪商工会議所 地下1階 会議室			
主催	経済産業省、NPO日本ネットワークセキュリティ協会			
後援	大阪商工会議所 日本商工会議所、全国商工会連合会、NPO法人ITコーディネータ協会、 全国中小企業団体中央会、社団法人中小企業診断協会			
講師	嶋倉 文裕	総参加者数	65名	
セミナー参加者	商工会議所関係者	2名	中小企業診断士	7名
	商工会関係者	1名	EC実践講師	4名
	中央会職員・指導員	1名	日商マスター	2名
	ITコーディネータ	48名	その他	5名
主催者	経済産業省近畿経済産業局 坂倉孝雄 JNSA 西日本支部 小柴、大財、堀内、久保、浅野 JNSA 井上、林、持田、畑野			10名
参加者の状況				
<p>セミナー参加申込みに対する参加率は、86.7%(申込者数 75名、参加者数 65名)となり、高い参加率となっている。参加者は、昨年度も参加された方が14名であり、参加者のほとんどが今年度からの参加だった。アンケート結果からは、すぐに使える指導者用ツールが多数あること、グループディスカッションがあったことなど、指導者としてすぐに使える内容が盛りだくさんだったことがよかったとのご意見が多かった。グループディスカッションでは、10チームの構成で活発なディスカッションが行われた。また、テキスト左側が受講者用テキスト、右側が「LessonPoint」が書いてある方法は今後指導していく上でとても使いやすいとの意見もあった。厳しいご意見としては、指導を行うための具体的な事例がほしいとの要望があった。</p>				
開催地からのご意見				
<p>今回のような地域の指導者の少人数でのディスカッションは、大変有効であったとの意見を頂いた。今後の要望として、今回のようなセミナーであれば、定期的な開催を計画頂けるのであれば、参加者の理解もさらに深まるのではないかとのご意見を頂いた。</p>				
全体の考察				
<p>大阪地区の中小企業に対する指導者の層は厚く、関心度が高いことを感じた。グループディスカッションを通して、同じグループの中で指導者としての取り組みに対しての情報交換などができ、有益だったとの意見を頂いた。</p>				
会場の様子(写真)				
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>				

情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー（ 諏訪 ） 開催報告書				
日時	2009 年 11 月 17 日（火） 10 : 00 ~ 17 : 00			
場所	諏訪商工会館 大会議室			
主催	経済産業省、NPO 日本ネットワークセキュリティ協会			
後援	諏訪商工会議所 日本商工会議所、全国商工会連合会、NPO 法人 IT コーディネータ協会、 全国中小企業団体中央会、社団法人中小企業診断協会			
講師	山田 英史	総参加者数	19 名	
セミナー参加者	商工会議所関係者	2 名	中小企業診断士	5 名
	商工会関係者	0 名	EC 実践講師	0 名
	中央会職員・指導員	2 名	日商マスター	0 名
	IT コーディネータ	8 名	その他	4 名
主催者	経済産業省 金谷 学 JNSA 林、畑野			3 名
参加者の状況				
<p>セミナー参加申込みに対する参加率は、95%（申込者 20 名、参加者数 19 で、高い参加率となっている。参加者は、IT コーディネータや中小企業診断士など、実際に現場で指導にあたっている方の参加が多く、利用できるツールの提供は大変興味深かったようだ。</p> <p>アンケート結果では、個人のスキルアップ・中小企業への指導の点両面及びテキストの内容についても「大変役に立った・役に立った」と全員が答えていた。特にテキストは、分かりやすい、事例も含めてよくまとまっている、指導用のコメントが役に立つと好評であった。また、指導用ツール、グループディスカッションについても好評で大変参考になった、意識が変わった、といった意見が多かった。</p>				
				
開催地からのご意見				
<p>諏訪商工会議所には、昨年度の商工会議所アンケートで本事業における指導者育成セミナーを「開催しても良い」という意見をいただき今回の開催が実現した。経営者・従業員の意識の持ち方は低く、地域における指導的立場の方はいないという意見であり、商工会議所として今後ますますの普及啓発への取り組みが必要との考えが伺える。</p>				
全体の考察				
<p>長野県全体からの参加者は少なく、東京からの参加者もいたように、なかなか「情報セキュリティ」というキーワードでは興味をもたれる人が少ないということを実感した。だが、今回参加された方からの指導者登録や講習会開催申請は他の開催地とほぼ同数あり、セミナー受講者の今後の指導への拡がりに期待が持てると言えよう。</p>				

情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー（福岡） 開催報告書				
日時	2009年11月25日（水） 9：30～17：00			
場所	福岡商工会議所 会議室			
主催	経済産業省、NPO日本ネットワークセキュリティ協会			
後援	福岡商工会議所 日本商工会議所、全国商工会連合会、NPO法人ITコーディネータ協会、 全国中小企業団体中央会、社団法人中小企業診断協会			
講師	堂領 輝昌、斉藤 滝三		総参加者数	38名
セミナー参加者	商工会議所関係者	2名	中小企業診断士	3名
	商工会関係者	1名	EC実践講師	0名
	中央会職員・指導員	5名	日商マスター	0名
	ITコーディネータ	24名	その他	5名
主催者	経済産業省九州経済産業局 邊見 勝 JNSA 林、持田、畑野、青木			5名
参加者の状況				
<p>セミナー参加申込みに対する参加率は、86.4%(申込者数44名、参加者数38名)となり、高い参加率となっている。参加者は、昨年度も参加した人が7名とほとんどが今年度からの参加者だった。また、ITコーディネーターが21名と参加比率が高かった。福岡地域は、ITへの関心度も高く、ITコーディネーターの横連携は活発に行われているようだった。</p> <p>今回のセミナーでは、グループディスカッションにおいて、福岡商工会議所、福岡商工会連合会、福岡中小企業団体中央会、中小企業診断士、ITコーディネーターなど、普段同じ指導を行っているメンバーがそれぞれの視点から意見を出し合い意見交換し面識を持てたことが非常に良かったようだ。6チームの構成で活発な議論が行われた。多数の昨年の参加者から、昨年度よりも今年度の内容が充実していたとの感想を頂いた。</p>				
				
				
開催地からのご意見				
<p>普段からIT関連に関して、活発な議論が行われているようなので、開催に関してスムーズな対応をして頂いた。指導者として活躍されている方が多数おられるので、継続的な取り組みを行うことで経営層への働きかけができていると考えておられるようだ。</p>				
全体の考察				
<p>情報セキュリティに関して企業へ指導する際に、具体的に何をすべきなのかが、今回のセミナーを通して知りえたことがよかったとの意見を頂いた。具体的には、様々なツールの使い方、ディスカッションして企業のリスクアセスメントを実施すること、など実際の企業の経営者に指導することを想定した取り組みが描けたとの意見を頂いた。</p>				

情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー（ 広島 ） 開催報告書				
日時	2009 年 11 月 26 日（木） 9 : 30 ~ 17 : 00			
場所	広島商工会議所 2階 202 会議室			
主催	経済産業省、NPO 日本ネットワークセキュリティ協会			
後援	広島商工会議所 日本商工会議所、全国商工会連合会、NPO 法人 IT コーディネータ協会、 全国中小企業団体中央会、社団法人中小企業診断協会			
講師	菊谷 広	総参加者数	21 名	
セミナー参加者	商工会議所関係者	1 名	中小企業診断士	1 名
	商工会関係者	0 名	EC 実践講師	0 名
	中央会職員・指導員	0 名	日商マスター	0 名
	IT コーディネータ	15 名	その他	4 名
主催者	経済産業省中国経済産業局 安藤 武志 JNSA 林、持田、畑野、青木			5 名
参加者の状況				
<p>セミナー参加申込みに対する参加率は、77.8%(申込者数 27 名、参加者数 21 名)となり、高い参加率となっている。参加者は、その他指導を行う立場にある者に分類される方々が 88 名(参加者中 91.7%)と多く参加いただけた。グループディスカッションでは、4 チームに構成され、地域の現場での話題などを織り交ぜながら活発な議論が行われた。</p> <p>アンケート結果からは、全体的な指導者の意識が高く、ほぼ全員が「経営層の意識や体制・ルール作りといった組織的な問題」が問題解決との回答であった。ビデオが良かったとの意見が非常に多く、すぐに指導を行っていくうえで効果的なツールであるとの評価を頂けた。</p>				
				
開催地からのご意見				
<p>広島商工会議所では、年 1 回情報セキュリティ対策セミナーを実施しており、意識の高い地域だと思われる。IT コーディネータの意識は高く多数の参加があったが、様々な指導的立場である方々との連携、ネットワークはまだまだと感じておられた。今回のようなセミナーを通して、指導者のネットワークを構築し、指導者が相談窓口になって頂ければありがたいとのことだった。</p>				
全体の考察				
<p>普段から中小業向け指導者として活躍されておられる方が数多くおられたので、指導者としての具体的視点でのディスカッションができたことの効果が大きかったようだ。同じ指導を行うもの同士として、人的交流や意見交換ができたことが良かったとの声を頂けた。</p>				

情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー（ 釧路 ）					
開催報告書					
日時	2009 年 12 月 2 日（水） 9 : 30 ~ 17 : 00				
場所	釧路全日空ホテル3F 万葉				
主催	経済産業省、NPO 日本ネットワークセキュリティ協会				
後援	北海道商工会連合会釧路支所 全国商工会連合会、日本商工会議所、NPO 法人 IT コーディネータ協会、 全国中小企業団体中央会、社団法人中小企業診断協会				
講師	山田 英史		総参加者数	13 名	
セミナー参加者	商工会議所関係者	0 名	中小企業診断士	1 名	
	商工会関係者	6 名	EC 実践講師	0 名	
	中央会職員・指導員	1 名	日商マスター	0 名	
	IT コーディネータ	2 名	その他	4 名	
主催者	経済産業省 黒田 俊久 JNSA 林、畑野（記）			3 名	
参加者の状況					
<p>セミナー参加申込みに対する参加率は、100%(申込者数 13 名、参加者数 13 名)で、全員参加となる高い参加率となっている。参加者は、全員が今年度初めての参加であった。グループディスカッションでは、3 チームの構成で行われ、普段の課題などを含めながら活発な意見交換がされた。</p> <p>アンケート結果からは、テキストの内容、学習ツール（ビデオなど）、グループディスカッションなど全体を通して、全員が「大変役に立った」「役に立った」との回答だった。人数が少ないながらも、地域に根付いた積極的な活動をされている方々が結集し、活発な意見交換が行われた。</p>					
開催地からのご意見					
<p>釧路地域では、情報セキュリティに対しての「経営者の意識の持ち方や対策知識」が低いと感じておられ、まだまだ身近なものとして捕らえられていないように感じておられる。まずは、中小企業が情報セキュリティに対して関心を持って頂けるよう啓発活動を引き続き行っていくことが必要であるとのことであった。</p>					
全体の考察					
<p>グループディスカッションは、3 チームながらも実際に対象となる中小企業を想定しながら、積極的なディスカッションが行われた。参加者の中には顔見知りの方も多かったようだが、指導者として活動しているなかでの良い情報交換の場となったようだ。来年度以降も含めた、定期的な開催を求める声が多かった。</p>					

情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー（ 東京 ）				
開催報告書				
日時	2009 年 12 月 7 日（月） 9 : 30 ~ 17 : 00			
場所	東京商工会議所			
主催	経済産業省、NPO 日本ネットワークセキュリティ協会			
後援	東京商工会議所 日本商工会議所、全国商工会連合会、NPO 法人 IT コーディネータ協会、 全国中小企業団体中央会、社団法人中小企業診断協会			
講師	長谷川 長一	総参加者数	85 名	
セミナー参加者	商工会議所関係者	0 名	中小企業診断士	29 名
	商工会関係者	0 名	EC 実践講師	0 名
	中央会職員・指導員	1 名	日商マスター	0 名
	IT コーディネータ	50 名	その他	12 名
主催者	経済産業省 黒田、金谷 JNSA 林、畑野、青木			5 名
参加者の状況				
<p>東京では、昨年度に引き続き 2 回目の開催である。セミナー参加申込みに対する参加率は、77.3%（申込者 110 名、参加者数 85 であった。東京は定員を超えたため早めに申込を締め切ったが、その後キャンセルが 30 名と増え結果的に会場は空きがあるような状況であった。参加者は、IT コーディネータや中小企業診断士など、実際に現場で指導にあたっている方の参加が多く、利用できるツールの提供は大変興味深かったようだ。</p> <p>午後の指導用ツールの説明が終わって帰る人が目立ち、グループディスカッションに参加された人は 60 名程度であった。4~5 名でのグループを 9 グループ作りディスカッションを行った。議論が停滞することもなく活発なディスカッションをされていたようである。</p> <p>アンケート結果では、他の地域に較べるとテキスト内容に物足りなさを感じた、知っている内容が多かった、もっと詳しい情報が欲しい、など参加者のレベルの高さを感じさせる回答が多かった。グループディスカッションについては、様々な意見を聞いて参考になった、多くの気付きを得ることができた、などの意見が大半を占めていて好評であったようだ。</p>				
				
開催地からのご意見				
<p>セキュリティまでをセットにして IT 投資を考えないと、セキュリティは別途で費用がかかり、漏れた際には保障が必要ことなども IT 化が進まない原因と考えられるため、具体的な対策や相談窓口が必要と思われる、との貴重な御意見をいただいた。</p> <p>また、IPA のセキュリティセミナーなどがあるので、商工会議所として特に情報セキュリティのセミナーは行わないようである。</p>				
全体の考察				
<p>東京会場では、グループディスカッションの前に帰る人が多かったのが特徴であった。大都市では、グループディスカッションに積極的な人は少ないのかもしれない。ただ、残った人達の意見を聞く限りでは、大変参考になった、良かったという声が多かった。</p>				

情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー（ 尼崎 ）				
開催報告書				
日時	2009 年 12 月 14 日（月） 9：30～17：00			
場所	尼崎商工会議所 7階大会議室			
主催	経済産業省、NPO 日本ネットワークセキュリティ協会			
後援	尼崎商工会議所 日本商工会議所、全国商工会連合会、NPO 法人 IT コーディネータ協会、 全国中小企業団体中央会、社団法人中小企業診断協会			
講師	小柴 宏記	総参加者数	26 名	
セミナー参加者	商工会議所関係者	2 名	中小企業診断士	4 名
	商工会関係者	0 名	EC 実践講師	0 名
	中央会職員・指導員	0 名	日商マスター	0 名
	IT コーディネータ	12 名	その他	10 名
主催者	経済産業省近畿経済産業局 坂倉 孝雄 JNSA 西日本支部 嶋倉、斎藤 JNSA 井上、林、畑野			6 名
参加者の状況				
<p>セミナー参加申込みに対する参加率は、89.7%(申込者数 29 名、参加者数 26 名)となっている。参加者は、昨年の参加者が 5 名いた。グループディスカッションでは、5 チームに分かれ、それぞれのチームから積極的な発言があった。アンケート結果からは、ほとんどの方々が「大変役に立った」「役に立った」と感じている。特に、グループディスカッションが良かったとの声が多く、小柴講師の丁寧な白板を使ったポイント解説がわかりやすかったとの意見を頂いた。</p>				
				
開催地からのご意見				
<p>情報セキュリティに関しての意識の高い地域であるとの認識があるため、地域に浸透させるためには経営者、従業員、地域への継続的な啓発活動が必要であると考えられている。その中で、今回のセミナー受講者が地域での指導者として活動して頂けることを期待されており、兵庫県の情報セキュリティサポーター制度とも連携しながら、中小企業への情報セキュリティ対策の向上へ積極的に商工会議所が関わっている。可能であれば、単年度ではなく継続した開催ができるような取り組みが行えないものかとのご意見を頂いた。</p>				
全体の考察				
<p>グループディスカッションでは、講師が尼崎会場の参加者のレベル感が高いと判断し、2 回目のグループディスカッションから「情報セキュリティ対策」に対する優先順位を考慮するところまで求めるなど、更なる底上げを狙った。それでも決められた時間の中で要点をまとめた説明をどのチームも実施することができ、全体的な実地経験レベルの高さを感じた。</p> <p>そのような議論のなかで、具体的な業務課題の情報交換なども行え、ほとんどの方が持ち帰るものが数多くあったとの感謝の言葉を頂いた。</p>				

**情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー（ 熊本 ）**

**開催報告書**

日時	2009 年 12 月 18 日（金） 9 : 30 ~ 17 : 00			
場所	メルパルク熊本 3階			
主催	経済産業省、NPO 日本ネットワークセキュリティ協会			
後援	熊本県商工会連合会 全国商工会連合会、日本商工会議所、NPO 法人 IT コーディネータ協会、 全国中小企業団体中央会、社団法人中小企業診断協会			
講師	齋藤滝三・堂領輝昌	総参加者数	13 名	
セミナー参加者	商工会議所関係者	0 名	中小企業診断士	0 名
	商工会関係者	3 名	EC 実践講師	0 名
	中央会職員・指導員	1 名	日商マスター	0 名
	IT コーディネータ	3 名	その他	6 名
主催者	経済産業省 金谷 学 JNSA 林、畑野			3 名

**参加者の状況**

熊本では申込みの 13 名が全員参加であった。  
告知期間が 1 ヶ月弱と短かった関係で、商工会議所関係者には十分な事前告知や集客活動ができなかったが、地域で活動している NPO である NEXT 熊本の会員の IT コーディネータ資格保持者や市役所職員の方などが参加された。グループディスカッションでは、4 名で 2 グループを作成して行った。  
参加者アンケートでは、午前の講義・午後のグループディスカッション共に全員が「大変役に立った・役に立った」という回答で、ツールの紹介でも全員が「利用できる」と回答されていた。



**開催地からのご意見**

熊本県商工会連合会からは、県内の商工会に向けての案内の御協力を御願ひした。今後の要望として、経営者層へ向けてのセミナー開催を希望するとの意見をいただいた。

**全体の考察**

熊本県だけでなく長崎県から参加されている方もいらした。所用で午前中だけで帰られた方も数名いたが、最後まで参加された方には評判が良かった。指導者登録についても早速 1 名から申込書を受領した。参加人数は少なかったが、受講者アンケートでは大変好評であった。告知期間が短かったのが残念であるが、今回を布石として次年度以降に結びつけて行きたい。

**情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー（ 仙台 ）**  
**開催報告書**

日時	2010 年 1 月 13 日（水） 9 : 30 ~ 17 : 00			
場所	仙台商工会議所 7階大会議室			
主催	経済産業省、NPO 日本ネットワークセキュリティ協会			
後援	仙台商工会議所 日本商工会議所、全国商工会連合会、NPO 法人 IT コーディネータ協会、 全国中小企業団体中央会、社団法人中小企業診断協会			
講師	堂領 輝昌、斉藤 滝三	総参加者数	21 名	
セミナー参加者	商工会議所関係者	0 名	中小企業診断士	1 名
	商工会関係者	0 名	EC 実践講師	3 名
	中央会職員・指導員	0 名	日商マスター	1 名
	IT コーディネータ	13 名	その他	6 名
主催者	経済産業省東北経済産業局 村田 久明 JNSA 林、持田、畑野		4 名	

**参加者の状況**

セミナー参加申込みに対する参加率は、84%(申込者数 25 名、参加者数 21 名)となっている。参加者は、昨年の参加者が 7 名いた。グループディスカッションでは、4 チームに分かれ、それぞれのチームから積極的な発言があった。

アンケート結果からは、ほとんどの方々が「大変役に立った」「役に立った」と感じている。特に、講師の経験やテキストに載っていない最新動向などを講演内容に盛り込んで頂きよかったというご意見や、午後のツールの内容が自分ですぐに使っていただけるものだったのでよかったとの意見などを頂いた。

何度受講してもためになるセミナー内容なので、これからもセミナー開催を希望するとの声が多かった。



**開催地からのご意見**

仙台商工会議所では 2 回目の開催となった。昨年度に引き続き、参加された方も多数いたため、継続した開催による効果が出ているのではないかと感じている。

中小事業者の意識向上により、情報セキュリティに対する浸透が図られることが望ましい。しかしながら、現状を考えると、今後も行政の施策（対策費の補助などの支援プログラムなど）による一層の啓発が必要であると思う。

**全体の考察**

全体を通して、意識の高い参加者が多かったため、午後の実践研修、 が良かったと回答いただいた方が多かった。

グループディスカッションでは、4 チームでディスカッションを行った。1 回目のディスカッションでは「 USB メモリの使用」、2 回目のディスカッションでは「 ノート PC」に希望が集中し、議論が展開した。車での移動などが多い地域特有の課題なども多く見られ、地域に沿った情報セキュリティ対策が議論された。

情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー（大阪） 開催報告書				
日時	2010年1月18日（月）9：30～17：00			
場所	マイドームおおさか 8階 第1・第2会議室			
主催	経済産業省、NPO日本ネットワークセキュリティ協会			
後援	大阪府商工会連合会 全国商工会連合会、日本商工会議所、NPO法人ITコーディネータ協会、 全国中小企業団体中央会、社団法人中小企業診断協会			
講師	富田 一成	総参加者数	76名	
セミナー参加者	商工会議所関係者	2名	中小企業診断士	14名
	商工会関係者	1名	EC実践講師	2名
	中央会職員・指導員	0名	日商マスター	0名
	ITコーディネータ	47名	その他	22名
主催者	経済産業省 黒田 俊久 JNSA 井上、青木、畑野（記）			3名
参加者の状況				
<p>セミナー参加申込みに対する参加率は、82.6%(申込者数92名、参加者数76名)となっている。参加者は、昨年の参加者が16名、ITコーディネータ47名、中小企業診断士14名と既に指導員として取り組まれている方の参加が多かった。</p> <p>アンケート結果からは、多数が「大変役に立った」「役に立った」と感じておられ、現場の指導に取り組まれている方が多かったことから、指導していく上での教材としては全員が「役に立つ」との認識の回答だった。</p> <p>「指導者実践研修」でのツールの内容が実際の指導現場で役立つとの回答を多く頂いた。ビデオ3番目の事例では、実際の中小企業の場合を考えると、コスト的な面からも調査機関を介さずに直接委託先と委託元が協議対応することが多いのでは、との意見もあった。</p> <p>「指導者実践研修」のグループディスカッションは、もっとも評判が良かった。自分では気がつかないことを他者や他チームからの意見から、大変有意義だったとのことだった。</p> <p>昨年度の参加者からは、中小企業への指導という視点が導入され、またツールもよく揃っていて良かったとの声を頂いた。</p>				
<p>開催地からのご意見</p> <p>中小企業への指導に対して積極的な地域であると考えられている。指導者は積極的な方が多いが、中小企業の経営者・従業員とも現場ではまだまだ意識が低いと感じている。積極的な指導者が多いので、継続的にセミナーを開催していくなどの取り組みを行っていききたい。そのためには、今後も対策費の補助といった支援プログラムを国からも提供して頂きたい。</p>				
<p>全体の考察</p> <p>多数の参加者が参加され、1人ひとりが熱心な参加者が多く、終始活気あふれる雰囲気であった。午前の部の基礎研修から積極的な質問があった。内容的には、午前中の内容が少し簡単すぎたと感じた方もおられた。説明終了後も、質問が多数あり積極的な方が多かった。</p> <p>午後の実践研修では、実際にツールを利用することを想定した質問が多く出た。グループディスカッションでは、チーム数が多かったため(12チーム)発表の仕方を工夫し(1チームが発表しそれに対して同じテーマの別のチームが補足説明するといった形式)全チームが発表の機会があり、結果として内容はそれぞれが「気づき」を与えるものとなった。</p> <p>全体を通して受講者同士が自発的に名刺交換を行うなど、交流も積極的に行われていた。</p>				



情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー（ 富山 ） 開催報告書				
日時	2010 年 1 月 19 日（火） 9 : 30 ~ 17 : 00			
場所	富山県総合情報センター			
主催	経済産業省、NPO 日本ネットワークセキュリティ協会			
後援	社団法人富山県情報産業協会、富山商工会議所、富山県中小企業団体中央会、 日本商工会議所、全国商工会連合会、NPO 法人 IT コーディネータ協会、 全国中小企業団体中央会、社団法人中小企業診断協会			
講師	長谷川 長一	総参加者数	25 名	
セミナー参加者	商工会議所関係者	0 名	中小企業診断士	1 名
	商工会関係者	0 名	EC 実践講師	0 名
	中央会職員・指導員	6 名	日商マスター	0 名
	IT コーディネータ	14 名	その他	6 名
主催者	経済産業省 納谷 知佳 JNSA 林、畑野（記）	4 名		
参加者の状況				
<p>セミナー参加申込みに対する参加率は、86.2%(申込者数 29 名、参加者数 25 名)となっている。参加者は、昨年の参加者は一人もおらず、全員が今年度初めての参加者だった。グループディスカッションでは、5 チームに分かれ、それぞれのチームから積極的な発言があった。</p> <p>アンケート結果からは、ほとんどの方々が「大変役に立った」「役に立った」と感じておられた。</p> <p>特に、グループディスカッションとビデオ上映に関する関心が多かったようだ。「指導者基礎研修」では、テンポの良い経験に基づく解説が良かったとの意見があった。</p> <p>テキストは、中小企業の支援の際に利用しやすいとのことだった。「指導者実践研修」では、自身で利用するには「5 分でできる！」を、指導する場合には「中小企業向けビデオ」を利用したいとの意見があった。「指導者実践研修」では、様々な組織との交流ができ、異なる視点からの気づきができ良かった点だったようだ。有意義な内容だったので、今回のようなセミナーを継続して繰り返し開催してほしいと多数の方からのご意見を頂いた。</p>				
				
開催地からのご意見				
<p>まだまだ、中小企業の経営者の中で、情報セキュリティに対して関心のある方はごく一部である。IT と聞いただけで尻込みしてしまう経営者がまだまだ多い。それらの方々をどのようにして、情報セキュリティに関心を持って頂くのが今後の課題であるとのことのご意見であった。</p>				
全体の考察				
<p>直前では、豪雪となっていたが、セミナー開催時は天気が良く、参加者の足への影響はあまり無かった。</p> <p>実際に中小企業の経営支援を行っている担当者の参加者が多かったため、落ち着いた印象ではあったが、具体的な情報セキュリティに対する取り組みに関しては真剣なディスカッションが行われた。グループディスカッションでは、5 チームが編成されそれぞれのテーマに対してうまく分担された。発表なれしている人も多く、うまくそれぞれの問題点・対策などをまとめて発表されていた。2 回目のグループディスカッションでは、「情報セキュリティ対策」に対する優先順位を考慮するところまで求めたが、それほど問題なくどのチームも発表されていた。</p>				

情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー（ 群馬 ）				
開催報告書				
日時	2010 年 1 月 20 日（水） 9 : 30 ~ 17 : 00			
場所	前橋商工会議所 第2委員会室			
主催	経済産業省、NPO 日本ネットワークセキュリティ協会			
後援	前橋商工会議所、 日本商工会議所、全国商工会連合会、NPO 法人 IT コーディネータ協会、 全国中小企業団体中央会、社団法人中小企業診断協会			
講師	菊谷 広	総参加者数	17 名	
セミナー参加者	商工会議所関係者	0 名	中小企業診断士	1 名
	商工会関係者	2 名	EC 実践講師	0 名
	中央会職員・指導員	0 名	日商マスター	0 名
	IT コーディネータ	2 名	その他	12 名
主催者	経済産業省関東経済産業局 紺野 美王 JNSA 林、畑野（記）			3 名
参加者の状況				
<p>セミナー参加申込みに対する参加率は、85.0%(申込者数 20 名、参加者数 17 名)となっている。参加者全員が本年度初めての参加者だった。グループディスカッションでは、3 チームに分かれ、それぞれのチームから積極的な発言があった。</p> <p>アンケート結果からは、すべての方が「基礎研修」「実践研修」「実践研修」を通して、「大変役に立った」「役に立った」との回答を頂けた。特に、「大変役に立った」と回答頂けた方が多かったのは、「ビデオ上映」と「グループディスカッション」であった。</p> <p>「ビデオ上映」では、日常で起こりそうなことを題材にしているところが、意識を持ち取り組んでいく上で役立つとの意見があった。「グループディスカッション」では、人それぞれで見方が変わることで、自分の考えていなかったことや忘れていたことを思い出す、など気づきを得たとの意見を頂いた。それにより自身の幅が広がったようだ。研修内容以外でも、他業種の方と互いの意見交換ができたことが良かったとの意見も多かった。</p>				
<p>開催地からのご意見</p> <p>中小企業の経営者の意識の持ち方はそれほど高くはないという意見であった。本セミナーで登録された指導者を、今後前橋商工会議所が主催するセミナーなどで講師として活用できるようにしていきたいと考える。</p>				
<p>全体の考察</p> <p>参加者に IT 関連企業の方の参加が多く、中小企業への対策に対しての現実的な取り組みを考えておられる方が多かった。グループディスカッションは、3 チームながらも普段取り組まれている中小企業を想定しながら、積極的なディスカッションが行われた。</p> <p>特に 1 回目では「バックアップ」2 回目では「ノート PC」に 3 チーム中 2 チームが取り組んだ。そのため、複数のテーマでのディスカッションと同じテーマの中での取り組みの違いなど異なった視点から「気づき」を得ることができるよう構成となった。</p> <p>それらの中で、具体的な業務課題の情報交換なども行え、持ち帰るものが数多くあり有意義な機会であったとの言葉を頂いた。</p>				



情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー（ 北海道 ）				
開催報告書				
日時	2010 年 1 月 25 日（月） 9 : 30 ~ 17 : 00			
場所	北海道経済センター 8F B ホール			
主催	経済産業省、NPO 日本ネットワークセキュリティ協会			
後援	札幌商工会議所、 日本商工会議所、全国商工会連合会、NPO 法人 IT コーディネータ協会、 全国中小企業団体中央会、社団法人中小企業診断協会			
講師	久良知 健	総参加者数	48 名	
セミナー参加者	商工会議所関係者	0 名	中小企業診断士	2 名
	商工会関係者	0 名	EC 実践講師	0 名
	中央会職員・指導員	2 名	日商マスター	0 名
	IT コーディネータ	24 名	その他	22 名
主催者	経済産業省 金谷 学 JNSA 林、青木、畑野（記）			3 名
参加者の状況				
<p>セミナー参加申込みに対する参加率は、96.0%(申込者数 50 名、参加者数 48 名)となっている。参加者は、昨年の参加者が 10 名いた。グループディスカッションでは、7 チームに分かれ、それぞれのチームから積極的な発言があった。40 代が 21 名と多数を占めており、実務担当者の参加が多く、実践的な内容を求められる方が多かった。</p> <p>アンケート結果からは、自身が「指導者」として登録してからのことを想定した回答が多く、テキスト、指導用ツールなどは指導しやすいためにはどうすれば良いかや、ディスカッションの内容ではお客様の意見をリスク管理の観点からまとめるためにはどうすれば良いのかなど、かなり踏み込んだところまで考えられた参加者が多かった。企業での実務担当者の参加が多かったからではないだろうか。</p>				
				
開催地からのご意見				
<p>IT に関してかなり力を入れている地域であるため、関心のある企業は非常に多い。しかしながら、まだまだ中小企業の経営者・従業員は、情報セキュリティに対する関心は非常に低いと考えている。IT に関心がある指導者の存在はあるが、それが地域での適切な数であるかどうかはわからない。これからも、中小企業に対して、指導員という存在がいることを案内し、直接指導していただけるような仕組みにしていきたい。</p>				
全体の考察				
<p>IT に対して興味のある方が多く、情報セキュリティに対しても同様で、次の取り組みが重要であると認識されている方の参加が多かった。そのため、午前中の「基礎研修」では、簡単すぎるなどの意見も多く、午後の「実践研修」に興味を持たれた方が多かったようだ。特に指導的立場から、自身が開く講習会の中でグループディスカッションをどうするのかや、ツールを使うときは対象者を経営層、管理者層を中心に行ったら良いのでは、など、具体的な指導のための手法にまで踏み込んで参加者同士で議論をするなど、積極的な取り組みの方が多かった。</p> <p>そのような議論のなかで、人同士の情報交換や、人脈が広がったことなども多かったようで感謝の言葉を多数頂き、来年度も開催してほしいとの要望が多かった。</p>				

## 情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー（ 静岡 ）

### 開催報告書

日時	2010 年 1 月 29 日（金） 9 : 30 ~ 17 : 00			
場所	静岡コンベンションアートセンター「グランシップ」910 会議室			
主催	経済産業省、NPO 日本ネットワークセキュリティ協会			
後援	静岡商工会議所・静岡県中小企業団体中央会、 日本商工会議所、全国商工会連合会、NPO 法人 IT コーディネータ協会、 全国中小企業団体中央会、社団法人中小企業診断協会			
講師	大溝 裕則	総参加者数	19 名	
セミナー参加者	商工会議所関係者	6 名	中小企業診断士	3 名
	商工会関係者	0 名	EC 実践講師	1 名
	中央会職員・指導員	1 名	日商マスター	0 名
	IT コーディネータ	6 名	その他	4 名
主催者	JNSA 林、畑野（記）		2 名	

#### 参加者の状況

セミナー参加申込みに対する参加率は、90.5%(申込者数 21 名、参加者数 19 名)となっている。参加者は、全員が今年度初めての参加者だった。

アンケート結果からは、多数の他の機関の方と情報交換できたことが良かったと回答されている方が多かった。IT 担当以外の参加もあったが、どのように対処すれば良いのかの理解ができる内容であったため、満足して受講して頂けたようだ。講師の解説が事例などを含めながらの説明などがあり、わかりやすかったとの意見が多かった。



午前の「基礎研修」では、講師が経験豊富な方なのにレベルを下げて噛み砕いていると感じた部分があったため、もう少し難易度を上げてほしいとの意見もあった。

#### 開催地からのご意見

静岡地域の中小企業の情報セキュリティに対する意識は、従業員はそこそこ感じている場合が多いがどちらかといえば利便性の方が重視されがちである。また、経営者はあまり現実感を持っておらず、関心が少ないようだ。

今回のセミナーのような地方都市での開催の機会は、非常に地域振興に役立つため、引き続き実施して頂きたい。そうすることで、情報セキュリティ指導者としての支援スキルを高めていくことができる。IT 経営応援隊など、他の振興事業とも組み合わせ、地方の商工会議所などが独自に、中小企業向けに情報セキュリティ振興セミナーなどを開催していくことができれば良いのではないと思う。今後、情報セキュリティに関する事項はビジネス上もっと重視されて良いと思うので、継続的な対策費の補助といった支援プログラムの実施を望んでいる。

#### 全体の考察

普段から中小企業の指導に携わっている方が多かったため、スムーズに進められた。

午前の部は、普段情報セキュリティに関わっていない方もいたため、うまく短時間に事例を交えて説明されていたとの評価であった。

実践研修 では、「中小企業対策ビデオ」の使い方や、IPA ツールの使い方など、普段の指導の中での取り組み方法に関しての質問が多かった。

実践研修 では、4 チームのグループに分かれ、それぞれのチームの自発的な選択によりテーマを決め、ディスカッションを実施した。県内の広域にわたっての経営指導員などの方々から、静岡で開催したことに対して非常に感謝された。情報セキュリティに関して熱心な地域なので、これらの取り組みが継続的に活用されていくことを希望されていた。

情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー（鳥取）				
開催報告書				
日時	2010年2月1日（水）9：30～17：00			
場所	鳥取県商工会連合会館 3階 大研修室			
主催	経済産業省、NPO日本ネットワークセキュリティ協会			
後援	鳥取県商工会連合会、 全国商工会連合会、日本商工会議所、NPO法人ITコーディネータ協会、 全国中小企業団体中央会、社団法人中小企業診断協会			
講師	小柴 宏記	総参加者数	25名	
セミナー参加者	商会議所関係者	0名	中小企業診断士	1名
	商工会関係者	16名	EC実践講師	0名
	中央会職員・指導員	0名	日商マスター	0名
	ITコーディネータ	2名	その他	7名
主催者	JNSA 青木、畑野（記）			2名
参加者の状況				
<p>セミナー参加申込みに対する参加率は、96.2%(申込者数26名、参加者数25名)となっている。参加者は、昨年の参加者が1名いた。</p> <p>アンケート結果からは、「役に立った」との意見を多数頂いた。ITとの関わりが少ない方も多く、基本的な用語が理解しにくかったり、流れが理解できない部分があった方もいたようだ。その中でも、指導の中でどのように指導していけば良いのかは、具体的手法、ケースなどがあり、習得できたことは多かったようだ。</p> <p>特にグループディスカッションでは、様々な視点から意識と知識の再確認など、興味を持ちながら積極的にディスカッションを行うことができ、良かったとの意見が多数を占めていた。</p>				
開催地からのご意見				
<p>鳥取地域の中小企業においての情報セキュリティ対策の現状は、経営者の意識よりも従業員の意識のほうがさらに低いと感じている。経営者は人材・コストに対する抵抗意識が高く、従業員は「電子データのコピーはタダ！で家に持ち帰っても大丈夫」だと意識している人が多い。地域に指導者らしき人は存在するが、それぞれの人材の知識格差が非常に大きいと感じている。</p> <p>今後も、主催者として情報セキュリティに対するセミナーなどを開催できるように、今回育成した指導者を活用していきたいと考えている。</p>				
全体の考察				
<p>普段接することの少ない商工会職員と一般企業のIT関係者の方、ITコーディネータの方などがチームごとに意見交換することができ、熱心なディスカッションが行われた。</p> <p>テキスト、DVD ツールなど具体的なコンテンツが多く、指導する際に使いやすいのだとの意見を頂いた。IT経験はあまりなくとも、中小企業が最近困っている課題であるとの認識を持って頂いている方が多い。そのため、指導していく上で具体的なコンテンツがあることで、地域に根付いた指導のために活かしていこうとの姿勢を強く感じた。</p> <p>幅広い地域、役割から多数の参加があり、関心の高さが伺えた。ITに関して、非常に詳しい方と接したことが無い方とのレベル差は感じたが、セミナー内容がITを意識しなくても中小企業への取り組みを伝えていくことができる内容であったため、参加しやすかったとの意見もあった。グループディスカッションでは、5チームに分かれてディスカッションを実施した。限られた時間の中で、うまく地域としての課題や、実際のお客様の課題なども意識しながら問題点や対策などをまとめ、発表することができた。</p>				

情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー（愛知）				
開催報告書				
日時	2010年2月5日（金） 9：30～17：00			
場所	春日井商工会議所 1F 大会議室			
主催	経済産業省、NPO 日本ネットワークセキュリティ協会			
後援	春日井商工会議所、 日本商工会議所、全国商工会連合会、NPO 法人 IT コーディネータ協会、 全国中小企業団体中央会、社団法人中小企業診断協会			
講師	大溝 裕則		総参加者数	15名
セミナー参加者	商工会議所関係者	0名	中小企業診断士	4名
	商工会関係者	0名	EC 実践講師	1名
	中央会職員・指導員	1名	日商マスター	0名
	IT コーディネータ	6名	その他	3名
主催者	経済産業省中部経済産業局 三橋 一美 JNSA 林、畑野（記）			3名
参加者の状況				
<p>セミナー参加申込みに対する参加率は、75%(申込者数 20 名、参加者数 15 名)となっている。参加者は、昨年の参加者が 1 名いた。グループディスカッションでは、3 チームに分かれ、それぞれのチームから積極的な発言があった。</p> <p>アンケート結果からは、ほとんどの方から「役に立った」との回答を頂いた。特に、IT に普段接している方からも IT に普段あまり関わりのない方も情報セキュリティに対する関心を持って頂き、具体的に持ち帰れるものが多かったとの意見が多かった。</p> <p>次回も愛知での開催をしてほしいなど定期的な地方での開催への期待が高いことを感じた。</p>				
開催地からのご意見				
<p>春日井商工会議所には、IT 関連の経営指導員がいないことと、ちょうど同じ日に商工会議所のイベントが重なったことがあり、春日井商工会議所など商工会議所からの参加者が少なくなってしまうことは残念だったと感じられている。</p> <p>愛知での開催は、今年度が初めての開催となったが、指導に関して関心の高い方は多い。IT 関連の取りまとめなどは名古屋商工会議所が行っているので、来年度は名古屋商工会議所で検討してみてはどうか。まだまだ地方における情報セキュリティの関心度は低いので、愛知県での継続した取り組みをお願いしたい。</p>				
全体の考察				
<p>参加者には熱心に受講いただき、積極的な質問も多かったので、充実した内容だったと感じた。</p> <p>グループディスカッションでは、各事象に対してグループで具体的な対策まで検討できたことが、実践に近い内容だったのではないかと考えられ、役に立ったとの意見があった。それらの対策は、頭の中で漠然と知っていることを、様々な意見を聞きながらまとめていく難しさも体験できたようだ。</p> <p>また、さらに突っ込んだ話し合いを行いたかったとの意見も数名から頂いた。</p> <p>全体を通して、情報セキュリティに対しての意識が高まったとのコメントを多数頂いた。</p>				



情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー（愛媛） 開催報告書				
日時	2010年2月10日（水） 9：30～17：00			
場所	松山市男女共同参画推進センター 3F会議室			
主催	経済産業省、NPO日本ネットワークセキュリティ協会			
後援	松山商工会議所、 日本商工会議所、全国商工会連合会、NPO法人ITコーディネータ協会、 全国中小企業団体中央会、社団法人中小企業診断協会			
講師	渡部 章	総参加者数	17名	
セミナー参加者	商工会議所関係者	3名	中小企業診断士	1名
	商工会関係者	1名	EC実践講師	0名
	中央会職員・指導員	2名	日商マスター	0名
	ITコーディネータ	6名	その他	5名
主催者	経済産業省 金谷 学 JNSA 林、畑野（記） オブザーバー 木村			4名
参加者の状況				
<p>セミナー参加申込みに対する参加率は、89.5%(申込者数19名、参加者数17名)となっている。昨年の参加者は3名いた。</p> <p>アンケート結果からは、「役に立った」との回答が最も多かった。参加者は、商工会議所職員、中央会職員、ITコーディネータ、中小企業診断士、企業のIT担当者など様々な役割の方からの参加があり、バランスの取れた構成となった。そのため、特に様々な視点からのグループディスカッションが行えたことで、意見交換が活発にできて良かったとの声が多かった。</p> <p>全体として、指導にすぐに役立つ内容が多かったので、今後の企業の指導に活かしていきたいとの積極的な意見が多かった。</p>				
				
開催地からのご意見				
<p>ITに関して愛媛県内での連携体制ができており、積極的な取り組みが行われている。その中で、情報セキュリティに関してはまだまだ取り組まれている方も少なく、今回具体的な情報セキュリティセミナーを実施したことで、関心が高まったようだ。（松山商工会議所担当者も参加）2月の開催で、確定申告などの経営指導担当者が一番忙しく参加が難しかった。</p> <p>次回開催するのであれば、12月ぐらいまでの早い時期に開催できるようにしていきたい。</p> <p>実際に参加してみて、すぐに指導に役立つ内容ばかりだったので、今回の内容をこれからの地域の指導の中に役立てていきたい。</p>				
全体の考察				
<p>普段から、経営者への指導者育成に関わっている方が多く、中小企業への指導に対しての具体的なご意見、ご質問が多かった。中小企業の意識改革には、今回のセミナーの内容のような具体的なテキスト・ツールなどを活かしたコンテンツが必要になるとの意見もあった。</p> <p>経営者から見ると、悪いことをしている人のために時間やお金をかけるのは納得がいかないとのご意見もあり、もっともだと感じた。中小企業は、情報セキュリティ対策までお金が回らないことが多いため、国やIPAなどの研究機関が継続的にフォローしていくような仕組みを望んでいる声が多かった。来年度も継続して松山での開催をしてほしいとの声も頂いた。</p>				

情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー（ 京都 ）					
開催報告書					
日時	2010 年 2 月 19 日（金） 10 : 00 ~ 17 : 00				
場所	京都商工会議所 2階教室				
主催	経済産業省、NPO 日本ネットワークセキュリティ協会				
後援	京都商工会議所、 日本商工会議所、全国商工会連合会、NPO 法人 IT コーディネータ協会、 全国中小企業団体中央会、社団法人中小企業診断協会				
講師	大財 健治		総参加者数	50 名	
セミナー参加者	商工会議所関係者	16 名	中小企業診断士	4 名	
	商工会関係者	7 名	EC 実践講師	0 名	
	中央会職員・指導員	0 名	日商マスター	0 名	
	IT コーディネータ	19 名	その他	8 名	
主催者	経済産業省 島田 紀章 JNSA 井上、林、青木、畑野（記）			5 名	
参加者の状況					
<p>セミナー参加申込みに対する参加率は、94.3%(申込者数 53 名、参加者数 50 名)となっている。参加者は、昨年の参加者が 3 名いた。</p> <p>午前の「基礎研修」では、テキストへのポイントが多かった。「実践研修」では、冊子のみでは理解しがたい事項でも、目で見て事例を聞くなどで理解度があがったとの意見があった。</p> <p>「実践研修」では、外部の人と意見交換できることにより、立場・経験に違いによる視点を認識できたなど、様々な気づきがあり良かったとの意見があった。</p> <p>中小企業としては、投資、人的資源を必要とする対策は行いがたいが、認識を持つ、深めることからでも有効な対策となりえるのではないかなどと、実際の中小企業への提案を行っている中での具体的な意見交換が多かった。</p>					
開催地からのご意見					
<p>情報セキュリティに対する意識は、意識の高い方も低い方もおられるので、まずまずではないかとの認識であった。とはいえ、情報セキュリティを地域に浸透させるための指導者はまだまだ存在感がないため、今後継続的な地域指導者の育成が必要ではとのお考えだった。来年度以降も継続して、国からの情報セキュリティ対策の支援プログラムを提供してほしいとの要望があった。</p>					
全体の考察					
<p>参加者の中で、商工会議所職員・商工会職員の比率が多かったため、IT とグループディスカッションに関する経験が初めての方の割合が大きかった。グループディスカッションでは、IT コーディネータや中小企業診断士の方々が、それぞれのチームの中で、指導の観点からの経験の少ない方をうまく引き込み、それぞれのチームが積極的な議論を行っていた。</p> <p>具体的な指導を想定した質問が多く、多数の参考資料を持ち帰られる積極的な方もいた。</p> <p>グループディスカッションの議論の中で、具体的な業務課題の情報交換なども行え、多数の方が持ち帰るものがたくさんあったとの感謝の言葉を頂いた。</p>					

情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー（東京）					
開催報告書					
日時	2010年2月26日（金） 9：30～17：00				
場所	多摩テクノプラザ 2階セミナー室				
主催	経済産業省、NPO日本ネットワークセキュリティ協会				
後援	東京都商工会連合会、 全国商工会連合会、日本商工会議所、NPO法人ITコーディネータ協会、 全国中小企業団体中央会、社団法人中小企業診断協会				
講師	菊谷 広	総参加者数		56名	
セミナー参加者	商工会議所関係者	0名	中小企業診断士	8名	
	商工会関係者	3名	EC実践講師	0名	
	中央会職員・指導員	0名	日商マスター	1名	
	ITコーディネータ	32名	その他	16名	
主催者	経済産業省 金谷 学 JNSA 持田、青木、畑野（記）			4名	
参加者の状況					
<p>セミナー参加申込みに対する参加率は、83.6%(申込者数 67名、参加者数 56名)となっている。参加者は、昨年の参加者が4名いた。グループディスカッションでは、チーム分けを行わずに各個人で考えて頂き、その結果を周りの方2・3名で集まって意見交換をする形式をとった。</p> <p>アンケート結果からは、ほとんどの方々から「役に立った」との回答を頂くことができた。ITコーディネータ32名、中小企業診断士8名など実際に中小企業の指導に携わっている方が多かった。</p> <p>その中で、今回のセミナー内容から自分が指導する際にどのようにコンテンツを活かしているかなど、検討しながら参加されている雰囲気を感じられた。</p> <p>それゆえ、中小企業の指導がしやすいように、中小企業向けセキュリティポリシーの策定、零細企業向け事例の提示など、さらに踏み込んだ要望も多く頂いた。</p>					
開催地からのご意見					
<p>東京多摩地域の情報セキュリティに対する意識は、経営者・従業員ともに高いと考えているが、地域に根付いた指導者が今のところいるのかどうかも含めて、現状が把握できていない状況である。中小企業が情報セキュリティに対しての取り組みが必要であることは認識しているので、今後も継続した国からの対策費などの支援をお願いし、指導者が直接中小企業に対してどんどん指導できる環境を整えていければとのお考えのようだ。来年度も可能であれば、東京多摩地区でのセミナー開催ができるようにとの要望を頂いた。</p>					
全体の考察					
<p>以前の東京都立大学の講堂だったこともあり、学びやすい設備が整った環境だった。午前中の「基礎研修」での座学や、「実践研修」でのDVD映像や、IPAツールなど、映像の視聴なども非常に聞きやすい環境だった。ただ、「実践研修」では、机が固定式であったため、他地域で実施したような机をグループ別に集める方法は取れなかった。そのため、個人実習を実施し、その後数名で意見交換するという方式をとったが、すぐにグループが分かれ、活発な意見交換がされていた。</p> <p>実際の指導方法や、情報セキュリティポリシーの中小企業向けへの対応をどうすれば良いのかなど具体的な質問が多く、東京多摩地区の指導者の意識が高いことを感じた。</p>					

情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー（ 神奈川 ）				
開催報告書				
日時	2010 年 3 月 17 日（水） 9：30～17：00			
場所	相鉄岩崎学園ビル			
主催	経済産業省、NPO 日本ネットワークセキュリティ協会			
後援	神奈川県商工会議所連合会・神奈川県商工会連合会 日本商工会議所、全国商工会連合会、NPO IT コーディネータ協会、 全国中小企業団体中央会、社団法人中小企業診断協会			
講師	大溝 裕則		総参加者数	90 名
セミナー参加者	商工会議所関係者	0 名	中小企業診断士	6 名
	商工会関係者	2 名	EC 実践講師	0 名
	中央会職員・指導員	1 名	日商マスター	0 名
	IT コーディネータ	51 名	その他	33 名
主催者	経済産業省 金谷 学 JNSA 持田、青木、林、下村			5 名
参加者の状況				
<p>90 名の参加者があり、午後のグループディスカッションにも 80 名以上が参加され、今回の一連のセミナーの中で一番グループ数が多いディスカッションとなった。</p> <p>グループが多いためレイアウト変更等がスムーズに進まないことを懸念したが、参加者が協力的であったこともあり、予想以上にスムーズに行え、活発なディスカッションとなった。質疑応答もあり、アンケートでのコメントも他地域に較べるととても多く、参加者の意識の高さが伺えた。</p>				
開催地からのご意見				
<p>今回のセミナー開催は、神奈川県商工会議所連合会様と神奈川県商工会連合会様に後援いただき、会場提供は株式会社岩崎学園殿にお願いをしたため、会場アンケートは岩崎学園（兼 NPO 情報セキュリティフォーラム）の御担当者をお願いをした。中小企業の情報セキュリティ対策向上に必要なこととしては、経営層への啓発活動や教育と感じているようで、従業員については二極化する傾向があると感じているようだ。その他、ウイルス対策ソフトの完全導入など具体的な取組が必要との意見をいただいた。今後に向けては、神奈川県域の任意団体においては情報セキュリティの指導員を配置しているようだが認知度が低く運用まで結びつかないため、指導員のネットワーク化や中小企業への広報が必要との御意見もいただいた。</p>				
全体の考察				
<p>やはり大都市圏では参加者の知識レベルが高く、午前中の講義に関しては「内容に物足りない、簡単であった」という意見が目立った。当たり前の知識ではなくコンサルノウハウが欲しいという意見もあったが、知識レベルが異なる参加者を対象として、どこにターゲットを絞ってセミナーを進めれば良いか難しいところである。テキストに関しては他地域同様に「簡潔でわかりやすい、指導ポイントがあるところが良い」などと好評であった。</p>				

情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー（ 青森 ）				
開催報告書				
日時	2010 年 3 月 23 日（火） 9 : 30 ~ 17 : 00			
場所	青森県火災共済会館			
主催	経済産業省、NPO 日本ネットワークセキュリティ協会			
後援	青森県商工会連合会 全国商工会連合会、日本商工会議所、NPO IT コーディネータ協会、 全国中小企業団体中央会、社団法人中小企業診断協会			
講師	西本 逸郎	総参加者数	26 名	
セミナー参加者	商会議所関係者	0 名	中小企業診断士	1 名
	商工会関係者	9 名	EC 実践講師	0 名
	中央会職員・指導員	1 名	日商マスター	0 名
	IT コーディネータ	6 名	その他	10 名
主催者	経済産業省 黒田 俊久 JNSA 林、持田			3 名
参加者の状況				
<p>セミナー事前申込み人数から欠席者は一人という非常に高い出席率であった。会場が商工会であったため、商工会職員の参加割合が多かった。グループディスカッションでは、5 チームの構成で行われ活発な意見交換がされた。</p> <p>アンケート結果からは、テキストの内容、学習ツール（ビデオなど）、グループディスカッションなど全体を通して、全員が「大変役に立った」「役に立った」との回答だった。特にビデオの内容は教育等に有効であるという意見もあった。</p>				
				
開催地からのご意見				
<p>青森県商工会連合会さまには、セミナー開催について県内各商工会に対して集客協力をしていただき、年度末でありながら商工会職員の方に多数参加いただいた。経営者・従業員の教育や、地域での指導者の育成・確保が重要であり、地域における指導者的立場の方の有無についてはどちらともいえないという意見であった。</p>				
全体の考察				
<p>参加された方の意見からは、比較的満足度が高かったように伺える。大都市圏での開催と地方都市での開催とは、だいぶ参加者の考え方や意識、満足度も違うように思えるが、アンケートからは、継続開催を望む声や、今後の情報セキュリティへの取組の必要性を実感したというような声もあった。今回のセミナー開催が今後の青森県内での指導者育成に一石を投じることができれば幸いである。</p>				

## 第6章 セミナー実施状況

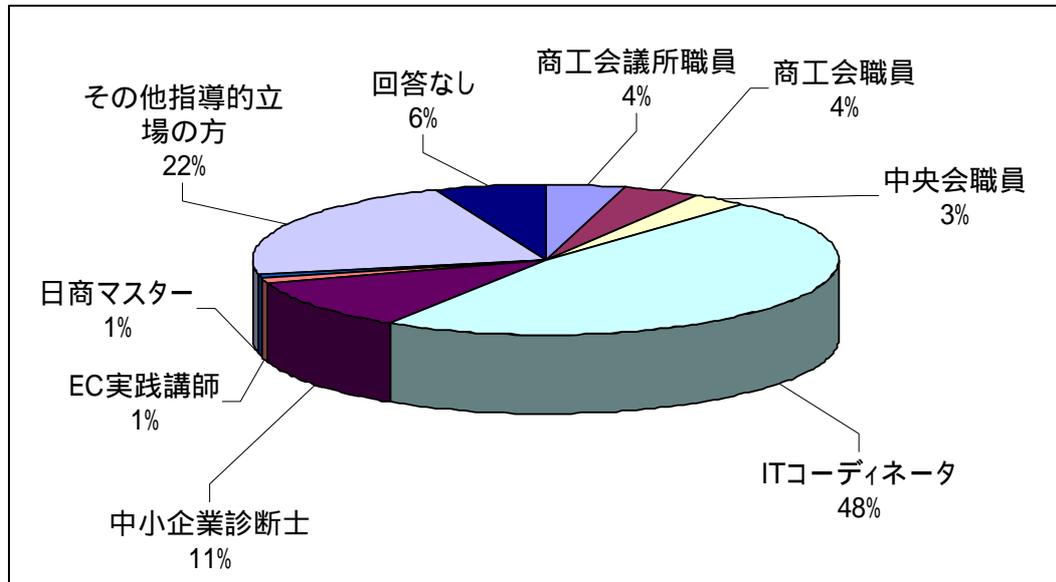
セミナー参加者に対して受講後アンケートを行い、今回のセミナーに関する意見を取りまとめた。参加の状況および、受講をした感想について集計し、実施効果の把握とともに今後の課題などについて分析を行った。

### ▶ 前年度受講経験

前年のセミナーに参加したか、今年が初めてかを確認したところ、初受講者が552名と80%近い状況であった。新たに受講いただいた方が500名以上いたことは喜ばしい状況であるが、前年度と内容を変えたにもかかわらず前年受講者が参加した割合が低かったのは残念。周知期間の早期化とセミナー内容を具体的に勝つ魅力的に見せる必要がある。

回答項目	回答数
今年度初受講	552
前年度受講経験あり	112
回答なし	38
合計	702

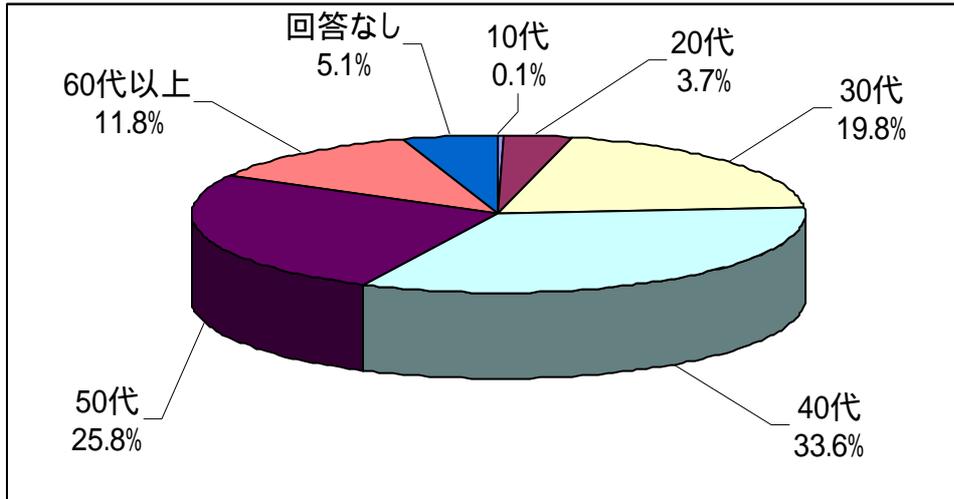
### ▶ 参加者の立場



商工会議所、商工会職員およびITコーディネータなど、地域でIT化を支援している人材に参加してもらうことを想定して開催したが、実際の参加状況は、ITコーディネータの参加が約半数、今年から参加を呼びかけた中小企業診断士も11%と、期待通りの参加をいただけた。

また、商工会議所関係については、開催場所ごとにITや情報セキュリティに対する積極性が温度差となって現れたようであり、税務相談の時期と重なった前年と比較してみても、想定したほどの集客数とはならなかった。

➤ 参加者の年代

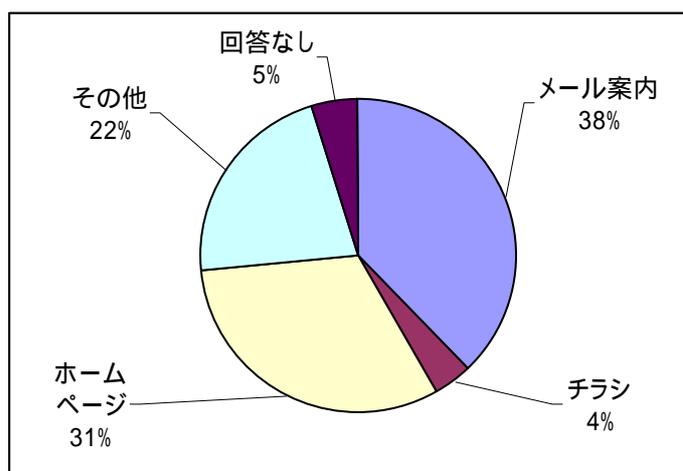


中小企業への指導的立場の方の参加を募ったこともあり、40歳代が33.6%と一番多く、次に50歳代の25.8%と、40・50歳代で60%近くを占めている。また、情報セキュリティという内容の特性上か、30歳代も19.8%参加しており、幅広い年代層の参加があったことが伺える。

➤ セミナーを知ったきっかけ

メールによる案内とホームページ閲覧が多く、比率は前年と同等となった。メールでお知らせを行うことで、ホームページに誘導するという集客方法が、参加者の層を考えた場合には効果が高いと考えられる。

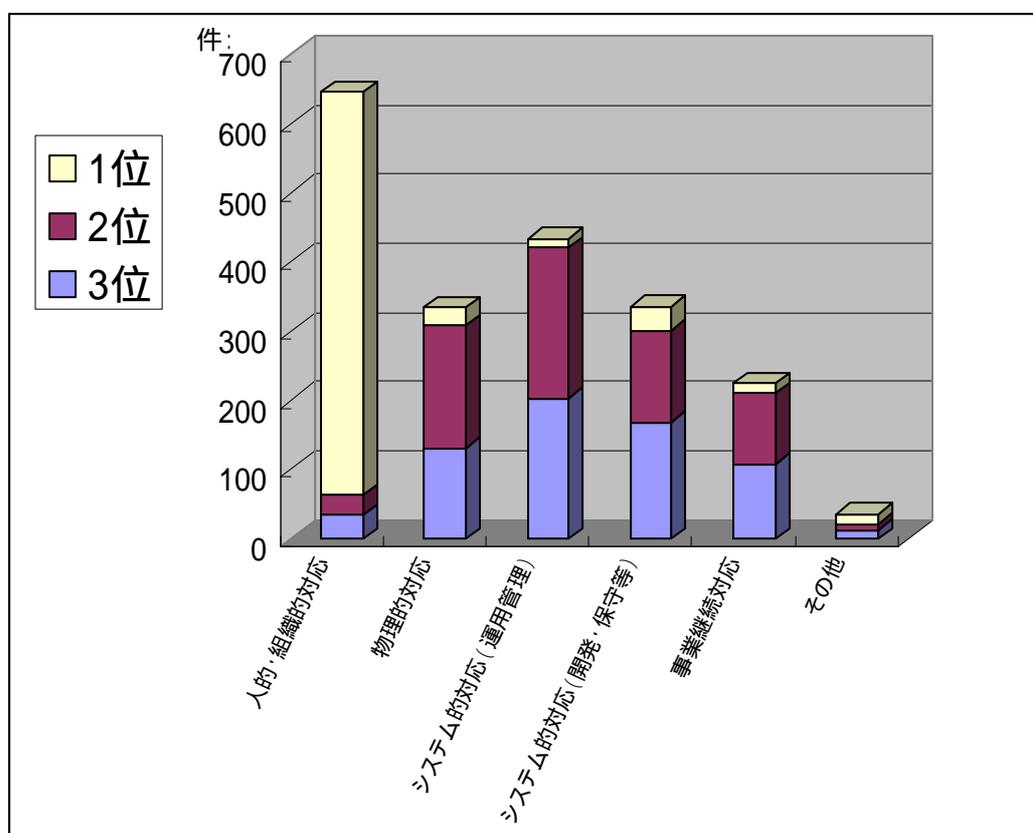
回答項目	回答数
メール案内	266
チラシ	27
ホームページ	221
その他	155
回答なし	33
合計	702



➤ 対策向上の課題

中小企業の情報セキュリティ対策を向上させるために何が必要と思うか。いくつかの選択肢を示して、必要と思われる項目を挙げてもらった。(上位3つまで複数回答可)

対策項目	1位	2位	3位
経営層の意識や体制・ルール作りといった組織的な問題(人的・組織的対応)	581	29	35
建物やPCの管理などの物理的(環境的)な対策の問題(物理的対応)	25	178	131
情報システム及び通信ネットワークの運用管理の問題(システムの対応)	14	217	203
情報システムへのアクセス制御や情報システムの開発、保守に関する問題(システムの対応)	35	133	168
情報セキュリティ上の事故対応状況に関する問題(事業継続対応)	15	102	108
その他	15	8	13

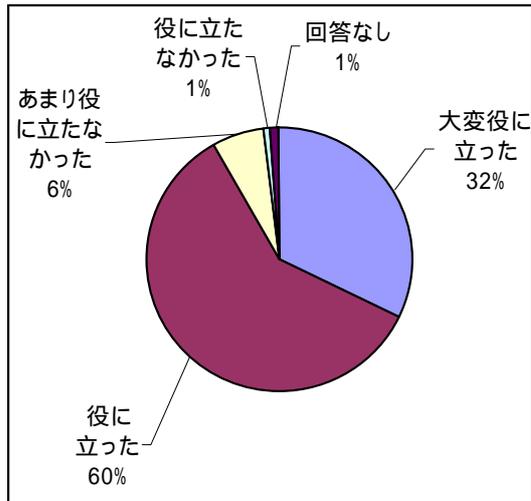


人的・組織的対応の1位の比率が圧倒的に高く、次いで2位・3位ではその他の対策がほとんど横並びとなっている。事業継続対応は意外に低いという結果となった。

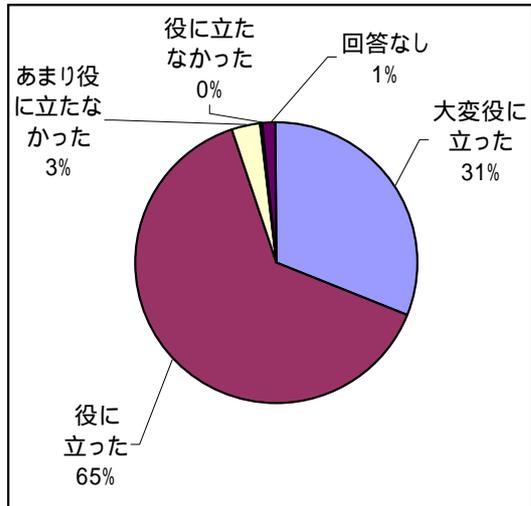
ルールやポリシー策定などの体制作りを行ってから対策を行う大企業とは違い、中小企業では、まずは当面必要な対策を行うという対応が取られている可能性が高い結果となっている。

➤ 午前の「指導者基礎研修」

◇ 個人スキルアップ



◇ 指導への活用

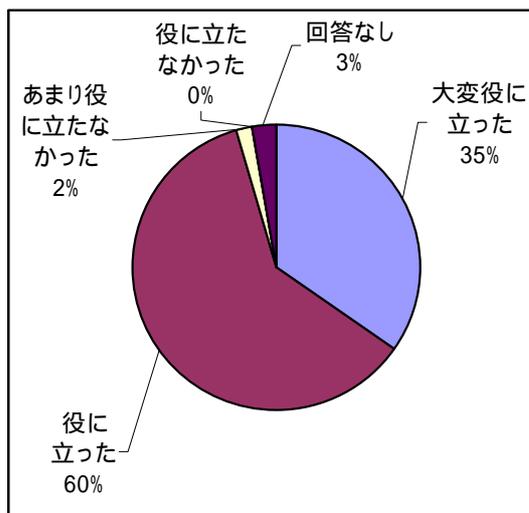


基礎研修としてテキストを基に行った知識習得研修については、個人のスキルアップおよび指導への活用の両面で意見を聞いたが、おおむね役に立ったという意見が 90%を超えており、全体としては講師への評価を含めて好評であった。

具体的な改善提案意見として多くの意見が寄せられており、主な内容に取りまとめて記載し、今後の対策事業への参考としたい。

- ・ 個人レベルでは既知の内容だったが、中小企業に対して教えるレベルとしては適切な内容であった。
- ・ セキュリティを経営業務に落とし込んだ事例をベースとした説明がほしかった。
- ・ 事件・事故に発展した事例や事後の対策、運用例について、もう少し具体的な事例を聞きたかった。
- ・ 大企業と比較して、中小企業として必要な対策のポイントや、どのように指導していけば経営者が対策に着手するのかといった内容の説明が欲しい。

➤ テキスト評価



テキストの内容についても、個人のスキルアップおよび指導への活用の両面で意見を聞いたが、こちらもおおむね役に立ったという意見が90%を超えており、全体としての評価は高い。

特に今年度は講習用と指導用の2分冊とした点の評価が高かった。

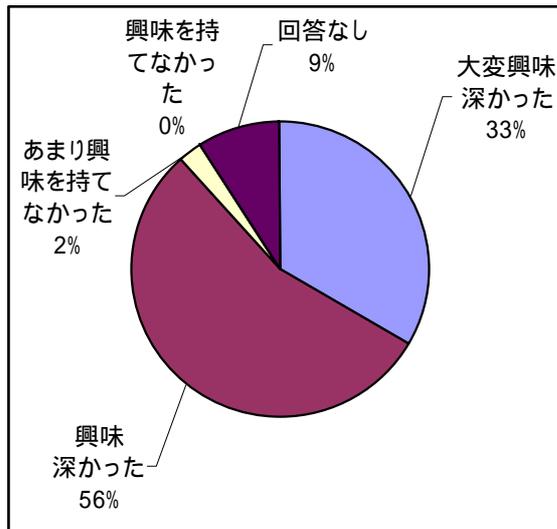
具体的な改善提案意見として多くの意見が寄せられており、主な内容に取りまとめて記載し、今後同様の配布物作成の際の参考としたい。

- ・ 専門用語に関する用語集を充実させるともっと良くなる。
- ・ 可能なかぎり、全ての項目に具体的な例を補足してほしい。結果としてこのような被害があった、という記載までであると説明しやすくなる。
- ・ 意識面の強化をもっと盛り込んだほうが、中小企業の経営者への訴えかけとしては重用だと思う。
- ・ 講師が解説された事例や実際の対応内容などを、レッスンポイントに盛り込むと解説がしやすい。

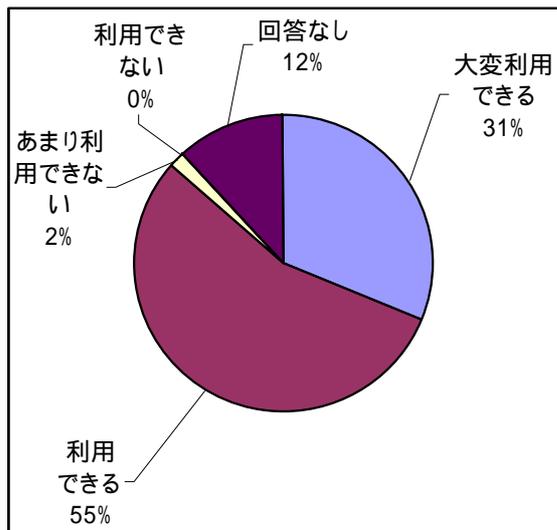
➤ 午後の「指導者実践研修 指導用ツール」

◇ ビデオ上映

● 自身の感想



● 指導への活用



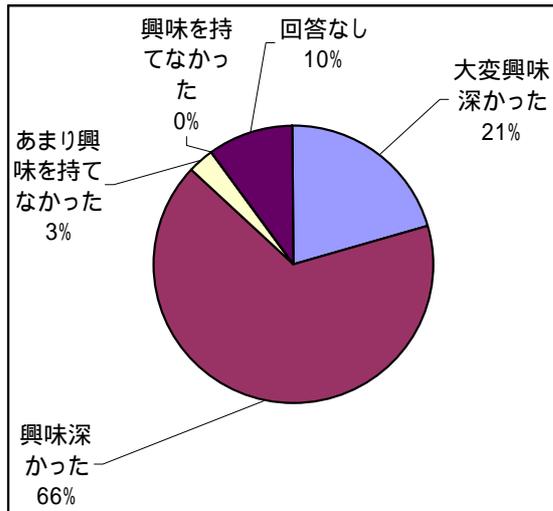
今回は実際の事件を基にしたビデオを作成し、セミナー時間中に上映を行った。中小企業の経営者に情報セキュリティ対策の必要性への気づきを与えることを主眼においたツールとして、地域での指導活動に活用いただく目的であるが、実際に視聴してもらった感想では非常に使いやすいという意見を多くの方からいただいた。

具体的な改善提案意見として多くの意見が寄せられており、主な内容に取りまとめて記載し、今後の対策事業への参考としたい。

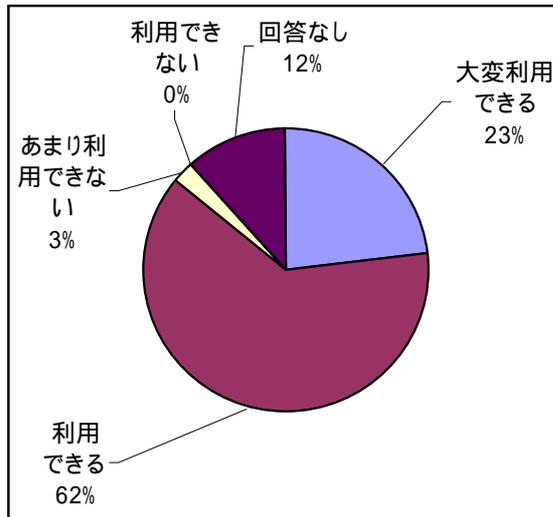
- ・非常にストーリーがわかりやすく眠くならない内容だった。
- ・全編が情報漏えいのテーマであったが、他のリスクについても取り上げた内容があればいい。
- ・最悪のパターンとなる内容があっても良いのではないかと感じた。
- ・企業規模が中堅以上に感じたので、小規模企業の事例もほしい。
- ・Webで公開されると中小企業に紹介しやすい。

◇ IPA「5分でできる！」学習ツール

● 自身の感想



● 指導への活用

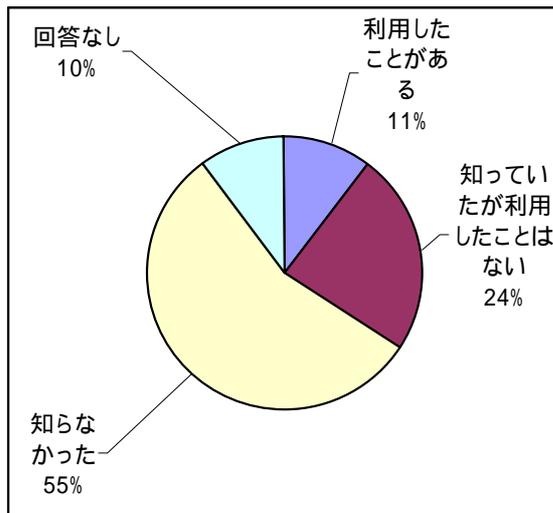


企業としてのチェックツールとして紹介したが、チェックリストそのものの利用と、学習ツールの活用についての意見がアンケートには混在した。特に学習ツールとして e ラーニング形式で学べる点の評価が自由意見には多くみられた。診断ツールの類はこれに限らず出てきているが、対応する項目ごとに学習できることが評価されたポイントであろう。

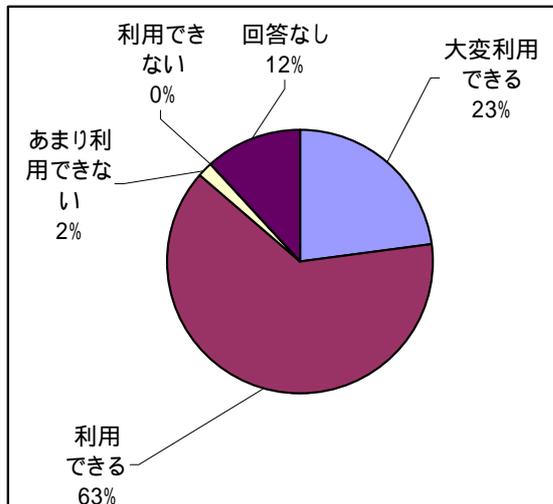
企業の現状診断を行った後の対応方法や、優先度合いのつけ方を具体的に示していくような仕組みを考えることで、チェックリストの有効性が発揮されるものと思う。

◇ 理解度チェックサイト

● 認知度・利用度



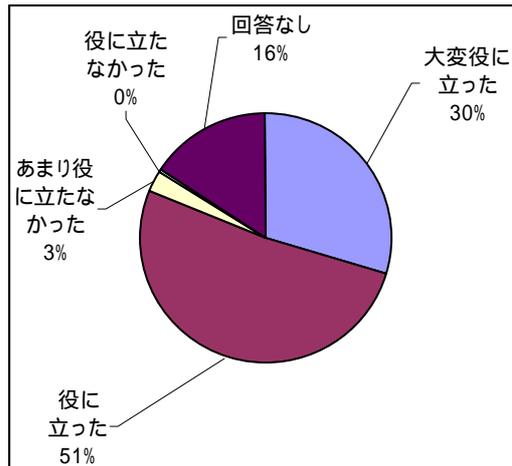
● 指導への活用



理解度チェックサイトについて、認知度は35%であり、利用経験者は11%であった。知らなかったという回答が50%を超えており、各種ツールの周知活動の必要性をあらためて感じたところである。今回紹介したことで、利用できそうと思った方は85%であり、ぜひ活用してもらったうえでの意見をもらいたいところである。

また、すでに利用している方からは、問題がランダムに出題されることで、毎年の継続学習に最適である。あるいは、同業者と自社とのレベル比較が出来て、対策のレベルを確認することが出来て大変効果的なツールだという評価をもらった。

➤ 午後の「指導者基礎研修 ディスカッション」



ディスカッションについては、指導者育成をメインテーマとした今年の事業での一番のポイントとした内容である。

進行をスムーズにするために、リーダー、記録係、発表者の役割を決めてディスカッションを実施した。また、システム管理者の目線での課題や対策に偏りやすいため、経営者としての判断も意識して討議を行ってもらった。

- ◇ ディスカッション1回目テーマ
  - USBメモリの使用
  - 機密情報の受け取り
  - バックアップ
- ◇ ディスカッション2回目テーマ
  - ファイル共有ソフト
  - ノートPC
  - ファイルの取り扱い

出来るだけ制約を持たせずに、自由な意見発表を行える内容でディスカッションを行ってもらったが、立場の違う方とこれだけたくさんの意見交換をできたことが一番良かったという意見が非常に多かった。時間の制約もあったために、課題と対策を整理する範囲にとどまったが、本来は想定される業種等にあわせた優先度も決めていくことが重要であり、そこまでを考えて発表いただいたグループもあった。

具体的な改善提案意見として多くの意見が寄せられており、主な内容に取りまとめて記載し、今後の対策事業への参考としたい。

- ・ ビデオを見て、その内容についてディスカッションするとイメージしやすいと思った。
- ・ どのチームも選ばなかったテーマについても、対策のポイントなどを解説してもらえると参考になる。
- ・ グループでディスカッションすることで、地域内での指導者としてのネットワーク構築が出来たことが有効であった。

➤ セミナー全般に関する意見

前年とは大きく構成を変え、知識部分はおさらいとして、指導のためのツール紹介とディスカッションをメインとした。この内容の評価は高く、特にビデオは活用しやすいという意見と、ディスカッションの有効性の評価が高かった。内容が盛り沢山になった感はあるが、前年度の評価と反省を踏まえて改善した部分の評価が高かったことは、事業効果としても高かったといえる。今後の課題としては、参加者レベルに合わせて内容を分けるなどし、参加者に真に必要な内容に絞った内容で行うなどが必要となりそうである。

具体的な改善提案意見として多くの意見が寄せられており、主な内容に取りまとめて記載しておくとともに、今後の同様施策実施の際の参考にしたい。

- ・ 実際に講習を行うために、セミナーの組み立て方の事例があると良い。
- ・ 業種や企業規模を絞った事例や対応策などがあると、実際の指導の際に便利である。
- ・ 指導用ツールなどの解説方法をもっと豊富にすると使いやすくなると思う。
- ・ 経営者と一緒に参加できるような施策もあってほしい。
- ・ 有益な内容であり、継続して開催することそのものが重要となるので、定期的かつ短いスパンで多く開催してほしい。

➤ 経済産業省に対する意見や提案

本事業の今年度施策に限らず、制度として取り組んだほうが中小企業の情報セキュリティレベル向上となると思われる意見をたくさん頂戴した。主な内容に取りまとめて記載しておく。

- ・ セミナーは非常に有効だと思うが、開催時期を早くからにするなど、通年で受講できる機会を作ってもらえると、中小企業の経営者などにも訴えかけやすい。
- ・ ビデオやホームページでの動画配信など、ストーリー性がありわかりやすい教材は、これからももっと増やしてほしい。
- ・ 指導者として経験する場が少ないので、指導の実践を行える場を作してほしい。
- ・ 国としてセキュリティ教育を行っていることを宣伝し、中小企業への意識向上やアピールをもっと行ってほしい。
- ・ ペネトレーションなどの無償ツールを配布したり、ウイルス・スパム等、あるいは認証などの仕組みへの対策について、積極対応・支援を行ってほしい。
- ・ 中小企業への他の施策とともに、セキュリティ強化のために具体的な指針があるといい。

## 第7章 開催会場からの意見

開催に協力いただいた商工会議所、商工会連合会(17会場)に、地域の中小企業における情報セキュリティ対策の現状を踏まえつつ今回のセミナーに関する意見を取りまとめた。

なお、複数回答設問については設問回答数合計が17件以上、回答がなかった設問は回答総数の17件に満たないものがある。

### (ア) 中小企業の情報セキュリティ対策の現状

#### 経営者の意識の持ち方や対策知識

高い	やや高い	普通	やや低い	低い
1	2	2	10	2

漠然とした不安はあるものの、実害がない限り意識はきわめて低いと考えられることが挙げられており、実際に被害が発生しない限りは、対策を行うまでの意識にはならないという状況がうかがえる。

個別意見としては、意識の高い方と関心の低い方で知識等の差が大きく、対策を実施しても担当者に任せただけで経営課題としては位置づけていないのではないかという意見もあった反面、年一回情報セキュリティ対策セミナーを実施しており非常に参加者が多く意識は高いものと思われる、という意見もあった。

#### 従業員の意識の持ち方や対策知識

高い	やや高い	普通	やや低い	低い
0	1	9	5	0

従業員についても、特に業務で係わっている場合を除けば、経営者と同じく、実害がない限り意識はきわめて低いと考えられている。

特に、データコピーは当たり前で、利便性の方が重視されがちだという意見があった。

また、年齢層では若い従業員の方が意識が高く、IT知識の有無で意識に差がありそうだという意見もあった。

さらに、個人によって差が大きく、二極化の傾向が感じられている。

#### 地域における指導者的立場の者の有無

居る		どちらともいえない		居ない
1	2	9	5	0

まったく居ないということではないが、セキュリティ対策の意識よりも、どうやってPCを使いこなすかが先行している状況。また、情報セキュリティについて、声高に情報発信しているところがない。

指導力の面でみると、人材の知識の格差が大きいと感じられているほか、地域において指導者的立場のネットワークは構築されていないという意見もあった。

- (イ) 中小企業の情報セキュリティ対策を向上させるために何が必要か。  
(上位3つまで複数回答可)

対策項目	回答数
経営者への啓発活動や対策方法の教育	16
従業員への啓発活動や対策方法の教育	12
地域での指導者育成や確保	8
対策費の補助といった支援プログラム	11
その他	1

特に経営者および従業員への意識啓発が重要との結果であるが、そのためには、意識を植え付けていくための継続したPR活動を行ったり、ITアドバイザー的に支援できる人材の確保により、現場に派遣することで効果があがるといえる。

個別意見としては、企業の経営者、管理部門の方、従業員に定期的な講習が必要だと感じているほか、指導者のネットワークを構築し、相談窓口となってもらえるとありがたいといった意見もあった。

- (ウ) セミナー参加者の指導者としての活用

今回のセミナー参加者には、情報セキュリティの指導員となって各地域で中小企業に対する指導を行なってもらうことを想定しており、講師等の対応機会を確認したところ、中小企業経営者に会場に来てもらうというよりも、各企業に指導員として直接訪問してほしいという意見が多かった。また、特にないという回答も4件あり、情報セキュリティ対策に関する相談が、それほど多くないと考えられる状況となった。

対策項目	回答数
商工会議所等主催でセミナー等を開いて、講師として活用したい	7
中小企業に指導員がいることを案内して、直接指導してもらいたい	11
特にない	4

- (エ) その他の要望事項

- ・ 支援体制の強化について
  - ・ 地方での同様セミナーの継続実施を希望。
  - ・ 経営者が参加できるセミナー開催と、そこへの参加者募集が必要。
  - ・ 相談窓口の設置、指導員のネットワーク化、中小企業への広報が必要。
  - ・ 今回のような少人数でのディスカッションは大変有効であり、今後も継続希望。

## 第8章 商工会議所・中小企業団体中央会からの意見

今回の促進事業では、各地の商工会議所および都道府県中央会と連携を行ったこともあり、情報セキュリティ対策の促進のために、各地の商工会議所・都道府県中央会が把握している現状についてアンケート調査を行い、今後より効果的な対策を実施するための現状分析を行った。

なお、回答がなかった設問については設問回答数合計が回答総数の146件に満たないものがある。

(ア) 県別の回答状況(回答総数:146件、うち商工会議所130件・中小企業団体中央会17件)

	北海道	北海道
	10	10
商工会議所	9	9
中小企業団体中央会	1	1

	東北	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県
	16	3	4	1	2	3	3
商工会議所	13	3	3	1	1	2	3
中小企業団体中央会	3		1		1	1	

	関東	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
	40	1	2	3	6	4	4	1
商工会議所	39	1	2	3	6	4	3	1
中小企業団体中央会	2						1	

	新潟県	山梨県	長野県	静岡県
	4	1	4	10
	4	1	4	9
				1

	中部	愛知県	岐阜県	三重県	富山県	石川県
	15	4	4	4	2	1
商工会議所	13	4	4	2	2	1
中小企業団体中央会	2			2		

	近畿	福井県	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県
	21	3	0	2	10	4	1	1
商工会議所	19	2	0	1	10	4	1	1
中小企業団体中央会	2	1		1				

	中国	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県
	17	2	1	4	5	5
商工会議所	15	1	1	4	4	5
中小企業団体中央会	2	1			1	

	四国	徳島県	香川県	愛媛県	高知県
	11	0	5	5	1
商工会議所	9	0	4	4	1
中小企業団体中央会	2		1	1	

	九州	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県
	13	5	0	0	0	4	3	1
商工会議所	11	5	0	0	0	4	2	0
中小企業団体中央会	2						1	1

	沖縄	沖縄県
	1	1
商工会議所	0	0
中小企業団体中央会	1	1

不明・その他
2
2
0

商工会議所名記載なし(1)、日本商工会議所(1)

( 地域の区分は、経済産業局管轄区域に基づく)

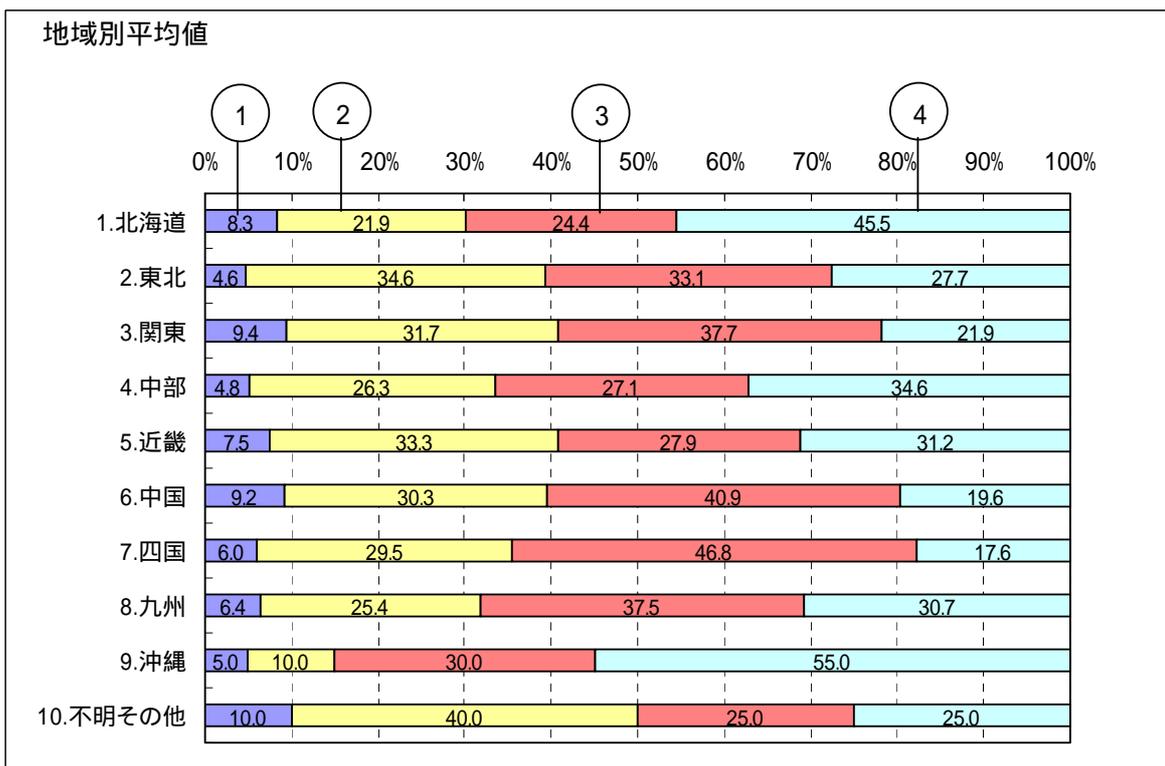
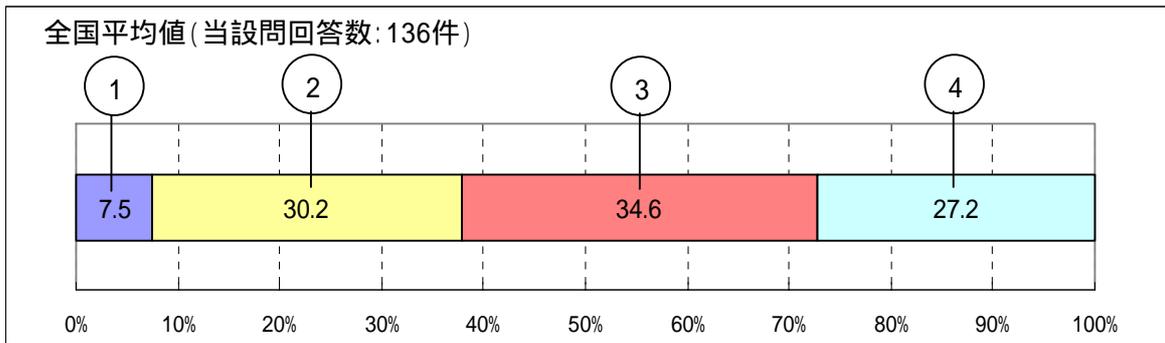
(イ) 傘下中小企業・団体におけるIT活用状況はどの程度だと思いか。傘下中小企業・団体全体を100%と考えた場合、次の4段階のレベルの企業比率を、回答してもらった。

Webショップを構築したり、協力企業間でEDIによる商取引を駆使するなど、ビジネスに存分に活用している。(IT活用度 高)

ホームページによる宣伝や、電子メールでの情報のやり取りを積極的に行っている。(IT活用度 中)

社内の業務システムを中心に利用している。(IT活用度 低)

ほとんど利用していない。(IT活用度 無)

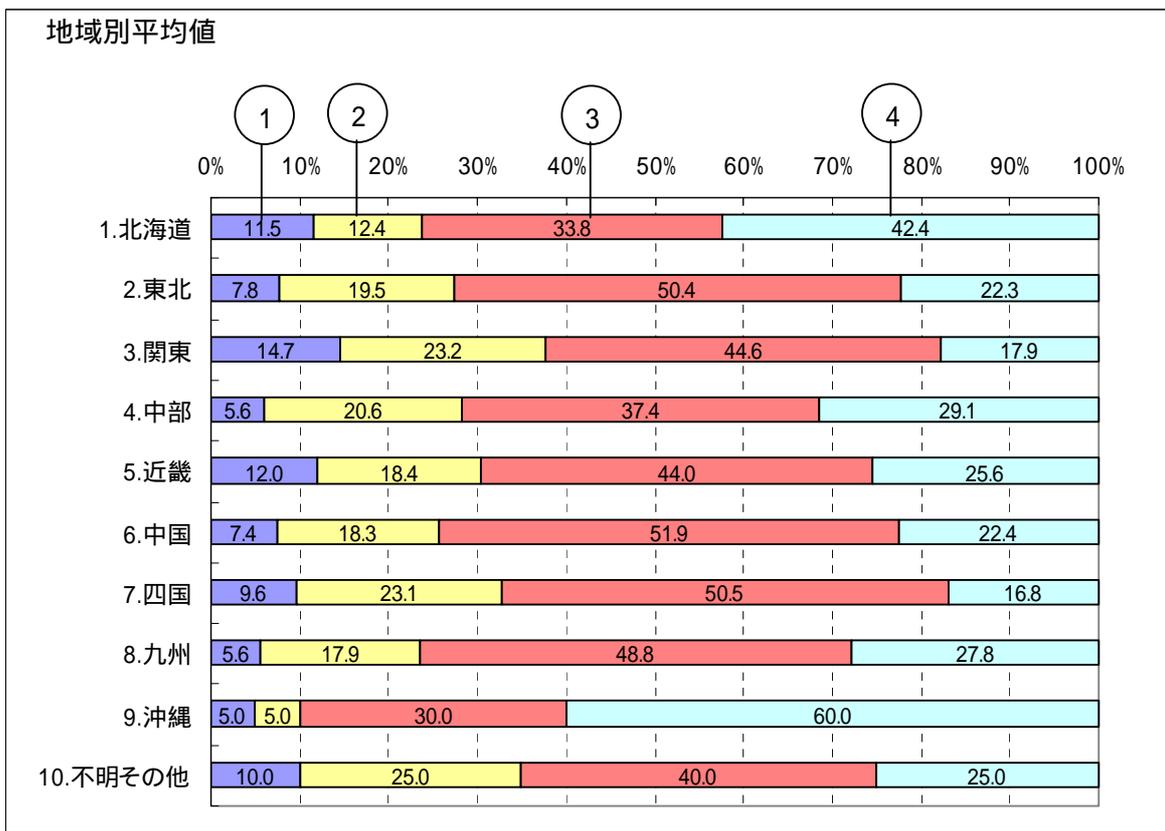
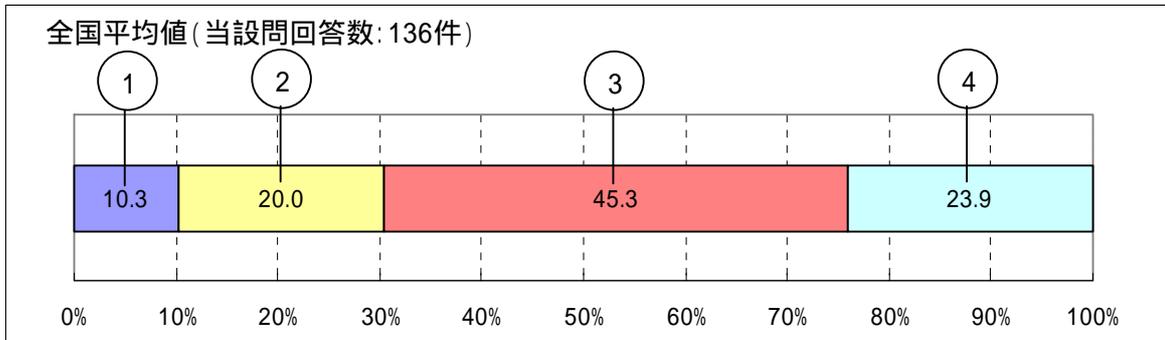


情報セキュリティへの意識および対策状況には、IT活用の度合いが大きく影響するといえることから、会員企業のIT活用状況を聞いた。

インターネットを活用したビジネス展開を行っている企業比率は、関東・近畿を中心に多い状況であるが、傾向としては首都圏に近いほど高く、首都圏から離れるほど活用がされていない状況である。特にインターネットを利用せず業務システムのみといった利用形態は沖縄では85%を占めており、次いで北海道、九州が低いという結果が出た。

前年の調査と大きな違いは出ておらず、距離の差を埋めることができるインターネットを、地方都市では活用していないという皮肉な結果が数値から読み取れることとなった。

- (ウ) 会員企業(主に中小企業)の情報セキュリティ対策度は、どのレベルにあると思うか。すべての会員企業を100%とした場合、次の4段階のレベルの企業比率を、回答してもらった。
- 会社全体として対策が実践されると共に、定期的な見直しがされ、適切な運用が行われている。
  - 会社全体で対策は行われているが、定期的な見直しが行われていない。
  - 対策は行われているが、ウイルス対策など一部のみであり、会社全体での対策は不十分である。
  - ほとんど対策が行われていない。



商工会議所が会員企業との日常の交流から感じている定性的な情報であり、個別の事象を具体的にチェックしたものではないが、おおむね地域間の特性をつかむことができる情報として分析を行った。

前年も同項目で調査を行っており、レベル1が前年は7.7%に対して、今年は10.3%になるなど、若干だが対策度のレベルが上がっている。全国の地域別対比で見ると、対策は一部あるいはほとんどされていないという回答が多いのは、沖縄が大きく、次いで北海道および九州であり、特に沖縄は「ほとんど対策が行われていない」が60.0%と、対策の遅れを危惧していることが数字に表れた状況である。

(エ) 傘下中小企業・団体の情報セキュリティ対策の現状を、5段階で一番近いと思われるレベルにチェックしてもらった。

経営者の意識の持ち方や対策のための知識

おおむねどの企業も高い	一般的には高い	どちらともいえない	一般的に低い	おおむねどの企業も低い
2	11	70	60	3

どちらかという低い状況だという意見がデータから見てとれる。

個別の意見としては、意識の高い企業、低い企業の対策格差が大きく、企業規模・業種で、その差は出てきているようだと感じているようである。特に従業員数が多い企業や、個人情報を大量に取り扱う企業では意識レベルが高いようである。

従業員の意識の持ち方や対策のための知識

おおむねどの企業も高い	一般的には高い	どちらともいえない	一般的に低い	おおむねどの企業も低い
2	8	84	45	7

おおむね経営層と同じように全体的には意識は低い、個別の意見としては、担当者任せになっていたり、ウイルス対策だけで万全と思っている傾向がある。

また、データの取り扱いなどについて会社としてのルールが明確になっていない状況が見受けられる。

(オ) 地域における指導者の立場の人材の現状

指導的立場の人材の有無

十分にいる	十分ではないがいる	どちらともいえない	ほとんどいない	まったくいない
1	45	47	52	0

IT関連を中心にした専門家登録あるいはITコーディネータが複数名いるなど、指導者が居ると答えた地域もあったが、どちらともいえないを含めて、地方では専門的知識を有する方が不足しているという意見が多く、指導的立場の方への専門知識教育の継続は必要といえる。

また、現状では個人レベルでの対応が大部分となっていると感じられており、地域全体の意識向上には、今の体制では限界を感じているようだ。特に指導者間でのネットワーク構築などが必要と感じている地域もあった。

指導的立場の人材に期待する指導内容

対策項目	回答数
経営層の意識や体制・ルール作りと言った組織的対応	112
情報システム及び通信ネットワークの運用管理	70
情報システムへのアクセス制御や情報システムの開発、保守	42
建物やPCの管理などの環境的な対応	32
情報セキュリティ上の事故対応	84
企業が知っておくべき関連法令・制度	72
その他	2

指導者に対しては、知識や対策そのものよりも、意識付けやルール作成、関連する法令や制度に関する助言といった内容を期待する声大きい。

特に、経営者に対して、必要性を分かりやすく伝えることが必要だとの意見もあった。

(カ) 中小企業の情報セキュリティ対策を向上させるために何が必要と思うか。いくつかの選択肢を示して、必要と思われる項目を挙げてもらった。(上位3つまで複数回答可)

対策項目	1位	2位	3位
経営者への情報セキュリティ意識に係る啓発活動	78	16	9
経営者への情報セキュリティ対策方法の教育	21	26	10
従業員への情報セキュリティ意識に係る啓発活動	2	31	20
従業員への情報セキュリティ対策方法の教育	10	35	34
市場や顧客からの評価	6	7	8
情報セキュリティに係る技術の向上、ツールの開発	3	4	7
企業内の体制整備	9	10	25
情報セキュリティに係る法制度の整備	3	5	4
地域での指導者育成や確保	3	4	10
対策費の補助といった支援プログラム	11	8	17
その他	0	0	1

まずは経営者への啓発活動が圧倒的多数となった。次いで、従業員への対策方法の教育という意見が多く、経営者が必要性を知り、従業員が適切な対応を行うことが企業活動では重要と考えられている結果となった。

また、企業内の体制整備についても、3位に選ばれた中で2番目に意見が多かった。対策の実施にはシステムを含めて多彩な知識が必要になるが、中小企業の多くはシステム部門を持っておらず、他の業務との兼務が多く、情報セキュリティに専従できないことから、企業内の理解をもらえる体制を整える事が必要だ。

このほか、中小企業のレベルに合ったセキュリティ対策をするのであれば、もっと費用がかからず利便性の良いツール開発や、補助金の活用が積極的に行える体制づくりが必要と考えられている。

- (キ) 平成 21 年度施策で行った情報セキュリティ指導者育成セミナーと今後の実施に関する意見を伺った。

今後も、積極的に実施したほうが良いと思われますか。

ぜひ必要	どちらかといえば必要	どちらともいえない	あまり必要ない	必要ない
30	76	34	4	2

おおむね実施には賛成が多く、必要はないだろうとの意見は非常に少ない結果となった。特に地域の人口規模に比例することなく、担当者の意識によるところが大きそうである。また、開催場所をすべての都道府県で希望する意見など、参加をしやすい実施場所の選定が必要となる。

貴団体での実施を希望、または実施依頼をすれば検討いただけますか？

ぜひ希望する	依頼があれば検討する	実施は難しい
3	74	68

前項の質問では実施はおおむね賛成であったが、自団体での実施は難しいとする意見が相当数出てきており、総論賛成各論反対という状況となっている。特に参加者募集に不安を抱いているという意見が多く、安心して会場提供いただける環境作りも必要であろう。

- (ク) 会員企業向けに IT 化促進支援事業（出来れば、情報セキュリティ対策に関連）として、活動されている主なものを自由記述してもらった。

活動内容	回答数
IT セミナー、パソコン教室	17
パソコン出張サービス、巡回指導	2
情報セキュリティセミナー (IPA 含む)	13
経営講習会	6
IT 無料相談	12
ホームページ作成支援	3
会報等による啓蒙周知	3

- (ケ) 会員向けに情報セキュリティ対策を行う際に、現時点で指導者的立場として応援を求める方がいるかどうかを、選択肢から選んでもらった。（複数回答可）

対象者	回答数
IT コーディネータ	96
中小企業診断士	45
EC 実践研修認定講師	13
日商マスター	10
公認会計士、税理士などの財務専門家	10
弁護士、司法書士などの法務専門家	12
貴組織内の相談員	40
その他	30
誰もいない	6

( ) その他の内容の主な対象者

- ・ IT関連の会員企業(7)
- ・ 地元の IT 関連企業(13)
- ・ 地元の行政・大学等関係者(3)
- ・ エキスパートバンク登録者、パソコン研修講師(4)

(コ) その他のご要望事項

- ・ 情報セキュリティ対策の必要性は高まってきているが、中小企業にとっては投下資金の準備がネックである。加えてお金がかかる、面倒という意識も高い。経営者が望むような支援策として設備投資・システム構築などで一定の水準を満たした場合の補助金制度などの整備が必要であると感じる。
- ・ まだまだ積極的な啓発を行っていく必要がある。特にデメリットの強調が必要。自分の所は例外と根拠のない思い込みをしている人が多すぎる。国からもっと積極的に働き掛ける必要があると思う。
- ・ 会員事業所向けに毎月広報紙を発行しているが、情報セキュリティに関するコラムのようなものを掲載してはどうかと考えている。ただし、執筆能力がないため、情報提供いただければ幸い。

## 第9章 担当講師からの意見

今回の指導者育成セミナーを担当した当協会所属の講師から、実施した側としてどのような効果あるいは課題が感じられたのかを意見を求めた。

討議形式で行ったものの概要を、テーマ別に以下に記す。

### (ア) テキスト

- ・ 講習用テキストと、指導用マニュアルに分けた構成は説明しやすい。
- ・ 内容・ボリュームとしては中小企業向けとして適切。
- ・ 経営者という視点で見たときには、構成を検討しなおした方が良い。
- ・ 売上・利益アップ、コスト削減、効率性向上などのキーワードとともに、実例を示してあるとよい。

### (イ) 指導用ツール

- ・ ビデオについては、実際に気づきを与えるツールとして使いやすい。
- ・ 5分で出来るチェックシートや理解度テストは、テキストや事例との関連性が解説できると、実情を確認した後の対応方法が具体的に説明しやすくなる。
- ・ ビデオは情報漏えいのみがテーマであるかのようなイメージをもたれやすいので、考えられるしすくに関する解説を増やしたり、ビデオを見てもらいながらディスカッションするのも効果的。

### (ウ) ディスカッション

- ・ ITコーディネータなどはディスカッション方法を理解していたため、おおむね活発な討議が行われた。
- ・ 選択したテーマが偏った場合の発表方法や、選択されなかったテーマへの解説などの必要。

### (エ) 全体

- ・ テキスト・指導用ツール・ディスカッションの全体の統一感があると、実際の指導時の活用イメージがしやすい。
- ・ 指導という観点では前年度よりも相当良くなっているが、経営者が興味を持つ内容をもっと取り入れて、地域で指導する機会を増やすことが必要。
- ・ 指導者だけでなく、経営者も参加したセミナーがあってもいい。
- ・ グループ内で名刺交換を積極的に行うなど、地域内での指導者間でのネットワークを必要としている様子を感じられた。
- ・ これまで実施していない地域でも開催を行い、指導者を増やすことと、指導を行う機会を増やしていった方がいい。

## 第 10 章 地域での講習会の開催

今年度は、指導者育成セミナー受講者が実際に指導者として、各地の中小企業の経営層の方々に  
対する「中小企業向け情報セキュリティ対策講習会」を実施してもらった。

対象とする講習会は、2010年2月末までに開催し、10名以上に対して最低2時間を実施。中小企  
業の企業内の情報セキュリティ対策を行う経営者等に対して、講習用テキストの内容に基づいて、講  
習を行うこととした。

また、これら指導者を広くお知らせするため、指導者名等(希望内容のみ)を本促進事業のホームペ  
ージに掲載した。

< 指導者のご紹介ページ >

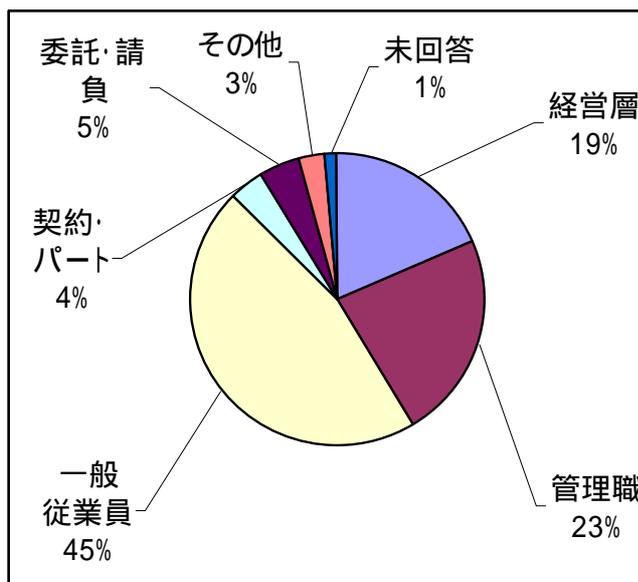
<http://www.jnsa.org/ikusei/seminar/instructor.html>

講習会を開催した際に、参加した受講者からアンケートを収集するとともに、開催状況を当協会に  
報告してもらっており、実施された講習会の実施状況等を以下に記載する。

(ア) 開催回数 ..... 43 回

(イ) 受講者 ..... 740 名

役職階層別内訳	受講者数
経営層	137
管理職	169
一般従業員	342
契約・パート	28
委託・請負	34
その他	20
未回答	10
合計	740
(再掲：システム部門)	(188)



(ウ) アンケート集計結果

◇ 講習内容について

● 講義全体

満足	ほぼ満足	普通	やや不満	不満
273	304	143	11	0

● 難易度

簡単	やや簡単	ちょうど良い	やや難しい	難しい
98	144	377	99	13

● 理解度

理解できた	ほぼ理解できた	普通	やや理解できなかった	理解できなかった
278	252	155	41	4

● 進行の早さ

早い	やや早い	ちょうど良い	やや遅い	遅い
49	165	470	46	4

● 時間数

短い	やや短い	ちょうど良い	やや長い	長い
42	142	446	84	13

● この講習を他者に紹介したいか

ぜひ紹介したい	紹介したい	どちらでもない	あまり紹介したくない	紹介したくない
105	364	233	7	0

完全に同じ講習内容で行ったわけではないため単純比較は難しいが、おおむね好評というアンケート結果となった。

講義の満足度とともに、難易度がちょうど良いという意見が多く、現在の中小企業のレベルに合った内容となっていることが伺える。

また、ほとんどの講習が 2～3 時間で行われており、時間数的にもちょうど良いという意見が多くを占めた。今年の見直しで講義時間は 3 時間以内で終了するようにしたわけだが、高評価であり、想定したとおりの好結果となった。

◇ テキストについて(難易度)

簡単	やや簡単	ちょうど良い	やや難しい	難しい
103	127	424	66	6

今年度の事業を行うに当たって、中小企業で必要な知識はどの程度なのかを検討し、テキストの見直しを行った。情報セキュリティ知識は非常に広範で、なおかつ奥も深いため、テキストに記載する範囲と粒度について苦心したところである。結果、中小企業で知っておくべき内容に絞込み、約 3 時間で網羅できる内容としたのだが、実際に講習で使用してもらったところ、ちょうど良いという意見が多くを占めた。今後は基礎技術やインシデントの動向、および中小企業の知識レベルの向上に伴って、見直しを行っていく必要がある。

◇ 講師について

● 指導内容

満足	ほぼ満足	普通	やや不満	不満
332	263	131	4	0

● 質問への対応

適切	ほぼ適切	普通	やや不適切	不適切
251	177	202	4	2

◇ 役に立った講習項目

テキスト項目としては、PCやメールのセキュリティが多かったほか、危険性や心構えについてが上位となった。また、ビデオ上映を行った講習では、非常に好評であり、気づきを与えられたとの報告が多く見られた。

◇ もっと知りたかった(期待をしていた)項目

もっと事例や対策方法について知りたかったという意見が上位を占めた。次いで、ウイルス対策についても詳しく知りたいという意見があり、意外にウイルス対策そのものをよくわかっていないという実態が現れた。

◇ 今回の講習会を受けて、情報セキュリティ対策を適切に実施できそうですか？

自信が ついた	やや自信が ついた	何とか できそう	やや不安	不安
134	161	292	102	14

◇ 情報セキュリティ対策レベルを向上させるために解決が必要だと考えている問題

選択項目	1位	2位	3位
経営層の意識や体制・ルール作りといった組織的な問題 (人的・組織的対応)	384	74	70
建物やPCの管理などの物理的(環境的)な対策の問題 (物理的対応)	74	179	133
情報システム及び通信ネットワークの運用管理の問題 (システムの対応)	74	189	169
情報システムへのアクセス制御や情報システムの開発、保守 に関する問題(システムの対応)	69	136	152
情報セキュリティ上の事故対応状況に関する問題 (事業継続対応)	80	89	126
その他	5	4	7

1位は体制そのものの構築を望む声が圧倒的多数となった。2位・3位で物理的・システムの対応を行う必要性を感じているが、その前に対応の基準作りや対策を行うための経営層の理解を求める声が高いようである。

◇ 情報セキュリティに関する相談者の現状

1. 相談をできる方の有無

いる	いない
424	281

2. 1.で「いる」とお答えの方の相談する方

対象者	回答数
社内システム管理者	164
社内責任者・上司	46
家族・知人	11
コンサルタントなどの専門家	67
取引業者	62
商工会等	7

3. 1.で「いない」とお答えの方の相談する方の必要性

必要	不要	どちらとも いえない
134	30	104

相談する対象者がいる者は 60%にとどまり、40%は相談できないでいる現状が数値化された。実際のインシデント発生時には、まずは先輩や上司、あるいは知人や取引業者に相談すると思うが、情報セキュリティの正しい知識と対応方法を知っている者とは限らない。

なおかつ、相談するものがないと答えたもののうち、必要だと感じているものは約半数しかない。

地域での指導者育成と、適切な指導者の必要性認知を進めていく必要がある。

◇ 参加者全体における意識や現場での対策の傾向

このような講習会に参加をする方々であることから、半数以上が高い意識を持って参加されているが、現状の対策は半数以上がやや出来ていない状況であり、正しい知識を身につけて、これから適切な対策を行っていくという状況である。

◇ 開催地域の一般的な情報セキュリティ対策状況

指導者が感じている開催地域の一般的な対策状況を答えてもらったが、低いと感じている方はおおむね半数。高いほうだと感じているのは2割もなく、商工会議所等が感じている傾向と似通ったものとなっている。

◇ 特記事項

指導者として実際に講習会を実施してもらったうえで感じたことを答えてもらったが、経営者への意識付けと、同様の講習会を地域ごとに継続実施をしていくことの、大きく2点を重要視するという意見が多くあった。

特に経営者自身がこのような講習会に参加することはまれであり、まずは経営者に意識付けをして、講習会に参加してもらうことから始めたい、という意見である。

## 第 11 章 まとめ

中小企業情報セキュリティ対策促進事業として、中小企業を直接指導する立場の商工会議所、商工会、EC実践講師、中小企業診断士、ITコーディネータ等に対して情報セキュリティの指導に関する基礎知識を習得してもらい、適切な対策のための指導ができるようになってもらうことを目的とした「情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー」を全国 18 都道府県で全 21 回開催することが出来た。約 5 ヶ月という短い期間で開催したにも関わらず、参加人数は 765 名を数え、予定した会場すべてで無事開催することができた。これもひとえに経済産業省を始め、日本商工会議所、商工会連合会、ITコーディネータ協会、全国中小企業団体中央会、中小企業診断協会を始めとする多くの関係機関の皆様の協力の賜物である。

事業としては2年度目ということで、事業主旨はもとより前年実施した際の成果や課題を基に、様々な事業内容の検討機会を設け、中小企業の経営者に対して指導者となった方々がより効果的に指導が行えるセミナーを考えて実施にこぎつけた。

今年度は、情報セキュリティの知識重視であった初年度目と大きく内容を変え、指導のためのツールや方法を中心としたセミナーとした。セミナー開始当初は計画した内容で成果が上がるのかという不安もあったことは事実であるが、商工会議所、商工会連合会、ITコーディネータ協会、全国中小企業団体中央会、中小企業診断協会および各地の関連団体が協力し合って、中小企業を始めとする地域の情報セキュリティ対策を考え、より良くしていくことができた。

また、実際に受講いただいた参加者が指導者となって、地域企業を対象に講習会を行ってもらうことで、企業の経営者への情報セキュリティ対策の重要性への気づきを与えることが出来たことは、本事業主旨の最終目的に少しでも近づけたことと思う。これにより全国で統一感のある事業活動を行うことが情報セキュリティ対策を行う上で、有効であることが再確認でき、また指導者自らが地域での講習会を行うなど事業主旨に沿った結果を残せたのは大きな成果であった。

もちろん実際に講習会を実施してもらうことで指導のための手法に関する課題がより鮮明になってきたことは事実であり、さらには指導者となったセミナー受講者が継続的に講習会開催や相談を受けていける仕組みは必要だと考える。これら課題を踏まえて、より企業経営に沿った地域の拠点としての商工会議所、都道府県中央会、中小企業診断士、ITコーディネータを始めとする指導的立場の人材を巻き込んだ対策が必要と感じたところである。

各地での参加者や会場となっていた商工会議所、商工会、都道府県中央会の皆様から、今後に向けての貴重なご意見もたくさんいただいております。さらなるセミナーの実施や、地域での支援施策を期待していただいている。この中には、指導者向け教育だけではなく、中小企業の経営者や従業員の啓発についても並行して、あるいは合同で行うことが、更なる大きな効果が期待できると考えられてもいる。このような活動には、全国で行われている「インターネット安全教室」、IPAの「情報セキュリティセミナー」などもあるため、今後はより関連性を検討して事業の効果向上に努めていきたい。

来年度は、このような様々な課題を認識し、効果を意識しながら、全都道府県での多くの開催を実現することにより、更に多くの中小企業に対して「情報セキュリティ」の本質を知ってもらい、効果的な対策を行ってほしい。

最後になるが、中小企業情報セキュリティ対策促進事業の目標を実現するためには、地道に継続していく事が何よりも大切であるが、我々事業を実施する側からのアプローチだけではなく、地域の拠点としての商工会議所や都道府県中央会等、あるいはITコーディネータや中小企業診断士を始めとする指導的人材、中小企業の経営者・従業員の企業側の人材のそれぞれの組織・立場の方たちが心を一つにした活動にして行くことが重要であろう。関係各位の更なるご協力・ご支援をお願いする次第である。

2010年3月発行

発行：特定非営利活動法人日本ネットワークセキュリティ協会  
東京都港区西新橋 1-22-12 JCビル3F

E-mail: sec@jnsa.org URL: <http://www.jnsa.org/>

「中小企業情報セキュリティ対策促進事業」は経済産業省の委託事業であり、  
特定非営利活動法人日本ネットワークセキュリティ協会(JNSA)が実施しています。

<http://www.jnsa.org/ikusei/>